

自作の「近江八幡市歴史検定問題199」です。腕試しにやってみてください！

*解答欄は①～⑤の5問から1個だけ解答番号を解答欄□に書く。原則5択方式です。

*解答は別紙をお願いします。出題はアトランダムです。(整理していません。とにかく作っただけです。)

【歴史編】

1、鬼退治の源流とされる「今昔物語巻第二十七」本朝付霊鬼「近江國●橋鬼喰人語第十三」に出てくる鬼が出る橋はどこに架かっている橋ですか。市内にあります。1984年にはその橋に出没するという鬼を退治に出かけた侍たちを描いたもので「今昔物語」の「○橋の鬼女」を映画化した「○○・鬼神の怒り」という中村久美、伊武雅刀などが出演している映画が造られています。若干ストーリーは羅城門の鬼に似ているが、こちらが源流です。ご存知でしたか。

①竜王橋 ②岩倉橋 ③安吉橋 ④日野川橋 ⑤弓削橋 □

2、江戸時代、上田秋成によって執筆された「雨月物語」の中には、高野山を舞台にした「仏法僧」という物語がありますが、登場する亡霊は誰れでしょうか。豊禅閣ともいわれ出家させられたうへの無念の切腹であったと聞いています。7月15日が命日です。

① 木村常陸介・重成親子 ②羽柴秀勝 ③木下秀俊 ④豊臣秀次と小姓 ⑤千利休 □

3、江戸中・後期 の国学者・歌人で、本名、資芳。別号、閑田子(かんでんし)と称した近江八幡の商家出身の人は誰か。今に残る旧商家住宅は、近江兄弟社図書館としても親しまれました。

① 蟬丸 ②松尾芭蕉 ③伴蒿蹊 ④西川吉輔 ⑤北村季吟 □

4、「住友」中興の人と言われた叔父広瀬幸平の後を継いで第2代住友総領事となり明治時代に東の足尾、西の別子とされた「別子銅山の中興の祖」と云われて環境問題にも心血を注いだ。別子銅山に植林した結果が今の「住友林業」に繋がっている。田中正造も称賛した近江八幡の西宿出身の事業家は誰か。

① 塚本幸一 ②山岡孫吉 ③伊藤忠兵衛 ④堤 康次郎 ⑤伊庭貞剛 □

5、近江八幡市名誉市民第1号「ウィリアム・メレル・ヴォーリス」氏は英語教師として来日後、建築設計、医薬品製造販売(メンソレータム)学校、病院経営などを手掛け「青い目の近江商人」と云われたが、占領軍ダグラス・マッカーサーとも親交があり「天皇を守ったアメリカ人」とも称されている。彼の出身地はアメリカ合衆国の何州の何という都市か。

① ミシガン州グランドラピッツ ②コロラド州デンバー ③アリゾナ州セドナ
④カンザス州レブンワース ⑤カリフォルニア州サンフランシスコ □

6、初代八幡城主の豊臣秀次はよく知られているところだが、小田原征伐の功により第二代八幡城主で最後の城主となった人物の名は誰か。(彼が大津城へ移転の後八幡城は廃城となる)大河ドラマの「お江」の姉「お初」の夫と云えば分かるかな。関ヶ原後は大津城での戦功が認められて小浜城主となる。

- ① 田中吉政 ②山内一豊 ③京極高次 ④藤堂高虎 ⑤細川忠興 □

7、西庄出身の商人「西村松兵衛」が横浜で再婚した「西村ツル」は前の名は「檜崎竜」といい、寺田屋のお登勢女将(大津出身)や勝海舟や西郷隆盛とも顔なじみだったと云われる。この「竜」は前の夫とは九州にも新婚旅行に行ったといわれる。維新を目前に暗殺された彼女の前夫の名前は誰か。彼は明智光秀の子孫ともいわれている。その証拠に彼の家の紋は「桔梗」である。

- ① 中岡慎太郎 ②大久保利通 ③西郷小吉 ④福沢諭吉 ⑤坂本竜馬 □

8、豊臣秀吉とは墨俣一夜城建設時のころからの知り合いで、蜂須賀小六とは兄弟分であり一般に将右衛門と呼び、関ヶ原合戦で石田方で活躍した舞兵庫は甥になるという。豊臣秀吉の家老となって小牧・長久手や小田原戦線で戦ったが豊臣秀吉事件に連座して賜死(切腹)した人物の名前は誰か。

- ① 木村重成 ②真田昌幸 ③菊亭晴季 ④前野長泰 ⑤石見重太郎 □

9、政変により水荃岡山城(城主：九里浄椿)に逃れて、そこで没した足利幕府の第11代将軍の名前を記せよ。

- ① 足利義晴 ②足利尊氏 ③足利義昭 ④足利義澄 ⑤足利義政 □

10、本格的に島に人が住むようになったのは、保元・平治の乱(1156~1159)による源氏の落武者7人が山裾を切り開き漁業を生業とし居住したことに始まると言われ、彼ら七家(南、小川、西居、北、久田、中村、茶谷)が現在の島民の祖先とされています。しかし現在まで沖島の寺に残る「虎斑の名号」を書いた有名な人物は誰か。

- ①法然 ②親鸞 ③蓮如 ④道元 ⑤教如 □

11、近江八幡市内の教会の息子で若い時から、市内の同和地区に入り込み解放運動にも熱心であったフォークの神様と云われた人。「チューリップのアップリケ」で有名なフォークシンガーの人の名前は。

- ①高石ともや ②岡林信康 ③はしだのりひこ ④よしだたくろう ⑤さだまさし □

12、市内の被差別部落に生まれ、若い時から部落改善運動に取り組み、大正11年、西光万吉ら奈良の燕会青年と共に全国水平社を立ち上げ、創立大会で初代委員長となった近江八幡出身の人物の名は。

- ①南梅吉 ②松本治一郎 ③駒井喜作 ④坂本清一郎 ⑤朝田善之助 □

13、江戸時代初期の有名な陽明学者で、元岡山藩池田家の家老まで務めた。若い時、中江藤樹の門下になるため、祖父の実家があった桐原村(中小森)で一時期を過ごした人物の名は。

- ①広瀬淡窓 ②新井白石 ③荻生徂徠 ④頼山陽 ⑤熊沢蕃山 □

14、江戸時代、隣国朝鮮からの使節団が通った道を「朝鮮人街道」といい、現在では野洲の広畑から彦根の鳥居元までが、その地名を残している。通算12回の李氏朝鮮からの使節団を何と

どうか。

- ①天正使節 ②遣新羅使 ③朝鮮通信使 ④百濟使節 ⑤琉球使節

15、第六天魔王といわれた、その人は戦国時代の英雄とされ、その人の先祖は、平（津田）親実（ちかざね）といい近江八幡の津田郷から出て福井の織田剣神社の神主となり、その子孫が、守護大名斯波氏の被官となり尾張に来ていると子の織田有楽斎（江戸時代には有楽町に屋敷があった）の家系図にある。またその人の母は「土田御前」というが市内の土田町という地名とも関係があるらしい。命日が1582年六月二日のその人物の名前は。命日に近い日曜日に安土地域では町民あげての盛大なお祭りがある。

- ①織田信行 ②織田信秀 ③津田信澄 ④織田信雄 ⑤織田信長

16、本能寺で討たれた織田信長の「首塚」が静岡県の西山本門寺の境内にある。本能寺の変のとき本因坊日海の指示により信長の首を埋めたとされるお寺がある、そのお寺（西山本門寺）がある都市の名前はどこか。近江八幡市とは富士山と琵琶湖の縁で夫婦都市提携をしていますが、妙な因縁を感じます。

- ①松前町 ②密陽市 ③富士市 ④富士宮市 ⑤静岡市

17、法然の念仏集団を弾圧した後鳥羽上皇は、法然上人を土佐に、親鸞聖人を越後に流罪にただけでなく、死罪になった法然門下の弟子もありました。それを「承元の法難」といいます。市内の千僧供町には断首された2人の法然上人の弟子の墓（首塚・遺跡）がありますが、その二人の弟子の名前を教えてください。

- ①一遍・一向 ②安楽・住蓮 ③松虫・鈴虫 ④弁長・信空 ⑤真仏・善鸞

18、信長亡き後、勝家と秀吉が戦った賤ヶ岳合戦で、敗れた柴田勝家は北の庄城（福井市）で滅亡しますが、柴田勝家が北の庄城に移る前は（天正5年北陸の上杉氏に対抗するため転封）近江八幡市内の城を居城としていました。永禄11年に足利義昭を擁した信長が入京のため近江に侵入以降、近江平定に、秀吉が長浜城、明智光秀が坂本城、佐和山に丹羽長秀を配して分封支配した頃です。そして勝家の居城のあった地を現在でも『瓶割山』と呼ぶ。彼の異名ともなった「瓶割り柴田」が居城とした市内にあった城の名前はなんですか。近年、南隣の東近江市羽田地区においては、この時の柴田の異名の元となった「柴田勝家」と「六角善治」の戦いをモチーフにした「雪野山歴史まつり」を開催し「水鉄砲」合戦が行なわれている。

- ①雪野山城 ②岩倉城 ③馬淵城 ④長福寺城 ⑤長光寺城

19、近江八幡商人には「ふとんの西川」（西川産業）の西川甚五郎氏や、北海道の場所請負で蝦夷開発に貢献した恵比寿屋岡田弥三右門氏などが有名ですが、遠く海外ベトナムまで商売に行き、結果、徳川幕府の鎖国により、ついに日本に帰れなかった近江八幡商人の名前は。

- ①角倉了以 ②茶屋四朗次郎 ③中井源左衛門 ④西村太郎衛門 ⑤下村彦右衛門

20、朝鮮通信使の休憩場所となり、書院には通信使の書が残っている「湖国法城」の額があるお寺。浄土真宗本願寺派の滋賀教区の教務所があるお寺の名前は。別名でも回答はOKとします。親鸞と蓮如の石像が出迎えてくれます。

①西明寺 ②西光寺 ③金閣寺 ④金台寺 ⑤浜別院 □

21、近江八幡市の宮内町の日牟礼八幡宮には「左義長まつり」と「八幡まつり」の二つの有名な「まつり」がある。そのうち「左義長まつり」は商売人の祭りといわれ、「八幡まつり」は十三郷（上ノ郷、下ノ郷）の農業用水の水利システムを軸にした農民の祭りだといわれる。その起点となった鷹飼町「井の島」の水源は今無いが、「祭り」だけが伝わっている。「八幡まつり」は第1日（4月14日）を「松明まつり」といい第2日目（4月15日）を「○○まつり」というが、近年は若者の減少で担ぐ人の確保も困難な状況となっている。第2日目の八幡まつりを別名、何んと呼んでいるか。

①篠田まつり ②農業まつり ③太鼓まつり ④日牟礼まつり ⑤てんびんまつり □

22、「太閤素生記」に伝わる秀吉が最初に仕えた今川家の家臣の名前は誰か。彼の先祖は、もともと近江佐々木六角の一族で、市内の円山城の城主であったが、その子孫が三河国松下郷頭陀寺に住み着き「松下」姓を名乗った。家紋は佐々木氏と同じ四つ目結である。秀吉との出会いにより、今川家没落後は、家康に仕えていたが、秀吉が貰い受けて大名となった人物の名は。領地であった茨城県伊那町には国の重要指定無形文化財で『小張松下流綱火』というロケット弾のような花火が伝承されている。2006年の年末ドラマスペシャルの「サルと呼ばれた男」で中井貴一が、その人を演じていたが、記憶されているだろうか。

①太原雪斎 ②大久保忠教 ③松下嘉兵衛 ④松平元康 ⑤岡部元信 □

23、西の湖内湖の水郷巡りは、観光資源の1つで有名であるが、市内には、あと4つの内湖があったが、戦後の食糧増産運動により埋め立てられ今では干拓地となっている。大中干拓、小中干拓、津田内湖干拓とあともう1つの干拓地はどこか。（

①日野川干拓 ②安土干拓 ③野村干拓 ④水荃干拓 ⑤琵琶湖干拓 □

24、安土町の平成大合併より以前の昭和大合併により、旧近江八幡市が誕生したが、その副産物として旧八日市市と旧近江八幡市の組合立による「中学校」が創設されていた。その中学校は滋賀歴代最強中学校といわれ、漫画の舞台（宮下あきらのコミック本で実名が使われ発禁本となった）になったり、他校にも一目置かれていたり、いろんな伝説をもった中学校の名前は。今の50歳以上の世代の人にはわかるでしょう。

①八幡南中学校 ②市辺中学校 ③日野中学校 ④蒲生中学校 ⑤船岡中学校 □

25、八幡商人が代々継承してきた経営理念であり「売り手よし」、「買い手よし」、「世間よし」から成る。商取引において、当事者の売り手と買い手だけでなく、その取引が社会全体の幸福につなが

なければならない、という考えを何というか。近江の武将石田三成の旗印だった「大一大万大吉」に通じるものがある。

- ①先義後利 ②三方よし ③四方よし ④一人は万人のために、万人は一人のために ⑤儉約・堪忍・正直 □

26、近江八幡市安土町には有名な神社が2つある。1つは全国の近江源氏佐々木氏一族の氏神（佐々木大明神）が祭られている沙沙貴神社（ささきじんじゃ）であり、もう1つは日本武尊の妃の弟橘姫命が、「我胎内に子在すも尊に代わりてその難を救い奉らん。靈魂は飛去りて江州・老蘇の森に留まり、永く女人平産を守るべし」としたこと、安産の神社とされている。滋賀のパワースポットとしても有名な天児屋根命を祭神とする、その神社の名前は。

- ①安土神社 ②老蘇神社 ③奥石神社 ④大石神社 ⑤若宮八幡神社 □

27、古事記や日本書紀にも載っている「天御中主命：アメノミナカノヌシノミコト」は、多賀大社に存するイザナミ・イザナギの大親神となっています。一説ではイザナギは「白王」とも呼ばれ宮内に一時住まいしたともいわれている。神話では高天原に最初に現れた神は国常立命といい、次の神が「天御中主命」となっていることから天孫族のNo.2と理解されます。近江に高天原があったという説もあることから、中ノ庄町にある、この神社には東郷平八郎元帥の扁額が掲げられているといいますが、この神社はなんと呼ばれているか。

- ①高皇産神社 ②天照国照神社 ③倭姫神社 ④大国神社 ⑤天御中主神社 □

28、「小田は良いところ お鍋の方が 殿をまねいたこともある」今も子守唄に唄われるお鍋の方は、一代の英傑「織田信長」の愛妾であった。小田神社のある小田町にはお鍋の方は住んだといわれる屋敷跡もある。お鍋の方は数多い信長の妻妾のなかで、唯一実名の判明している女性である。天正十年（1582年）六月二日 信長が本能寺で自刃、同十五日 安土城炎上するとき、側室お鍋の方を、ともかく敵方に囚われぬよう日野城へ迎え入れた人物は誰か。

- ①丹羽長秀 ②滝川一益 ③滝川益氏 ④蒲生賢秀 ⑤前田慶次郎 □

29、隣家との間についた小さい防火壁で1階屋根と2階屋根の間に張り出すように設けられているものを呼ぶ。本来、町屋が隣り合い連続して建てられている場合に隣家からの火事が燃え移るのを防ぐための防火壁として造られたものだが江戸時代中期頃になると装飾的な意味に重きが置かれるようになる。自己の財力を誇示するための手段として、商家の屋根上には競って立派な物が上げられた。市内では新町通りの商家町並みに見られる。それを上げるためにはそれなりの出費が必要だったことから、これが上がっている家は比較的裕福な家に限られていた。これが「生活や地位が向上しない」「状態が今ひとつ良くない」「見栄えがしない」という意味の語源のひとつともなっている。それを何というか。

- ①首 ②腕 ③うだつ ④頭 ⑤梁 □

30、六枚橋交差点を南に入るところに住蓮坊首洗池がある。住蓮坊首洗池は、後鳥羽上皇が法然上人

の弟子・住蓮坊等の二人の僧の首を刎ね、住蓮坊の首を洗った池とされるどころだが、その隣地に古墳らしき丘（千僧供古墳群供養塚；古墳出土の短甲・刀剣も千僧供町で保管されている。）がある。その古墳は「壬申の乱で戦死した額田王、鏡王姉妹の父（鏡大王）の墳墓である」とされている。鏡氏は新羅の王子、天日槍の従者の末裔である。鏡の里の真照寺には額田王の父の墓が残されている。額田王は「あかねさす・・・」の蒲生野の相聞歌で有名だが、その額田王の姉であった鏡王女のことはご存じであろうか。中臣の鎌足の妻となり藤原不比夫の母となった人物である。では 645 年乙巳（いつし）の変（大化改新のこと）で政権を蘇我氏より奪還し、百済を支援して白村江の戦いで唐・新羅連合軍に負けた天皇は誰か。近江と深い関係のある人物で額田王の夫です。

- ①天武天皇 ②皇極天皇 ③聖武天皇 ④天智天皇 ⑤景行天皇 □

31、サントリー美術館に所蔵されている「豊臣秀次公が着用したとされる甲冑」（朱塗黒糸素懸威二枚胴具足）は次のうちどれか。



秀次公甲冑・・・ ⑤ 全体的に大振りに作られた具足で、烏帽子形兜（写真ではわかりづらいが、横から見ると烏帽子形兜だとわかる）に獅嚙の前立と焰（ほむら）の脇立が付属する。胴は、朱漆塗の切付札を紺糸で素懸に威した縫延胴。一見すると伊予札の素懸威のように見えるが、実際には伸縮性のない二枚胴である。右胸に采配付の鐙がある。桃山時代を代表する華やかな具足である。

【文化】

32、2009年東映映画で、山本兼一の小説「火天の城」が公開された。安土築城を描いた映画である。その映画で熱田の宮番匠（宮大工）岡部又右衛門を好演した俳優は誰か。

- ①椎名桔平 ②西田敏行 ③西岡徳馬 ④笹野高史 ⑤夏八木勲 □

33、2004年改正文化財保護法による「重要文化的景観」第1号となった近江八幡市の景観地域はどこか。

- ①新町通りの八幡商家町並み ②日牟礼八幡宮と左義長まつり ③篠田の火祭り
④近江八幡の水郷 ⑤ヴォーリズ建築群

34、澤田ふじ子の小説「惜別の海」には武佐の石工集団が描かれている。また少年画報社から出版された「ひらまつつとむ」のコミック雑誌「まぶちの右近」は、信長の安土城築城を巡って、石工集団の馬淵（まぶち）衆ともう一つの石工集団の対立を描いたマンガである。馬淵一族は岩倉に住んでいたという物語（ストーリー）である。まぶちの右近と対立したもう一つの石工集団の名前はどれか。岩倉山からは近世初め、御影石が砕石された。馬淵の石工たちは、大阪城築城の際にも活躍し、それを示す桃山から江戸時代にかけての「石工文書」が地元で保存されている。

- ①百足衆 ②金山衆 ③穴太衆 ④坂本衆 ⑤宍粟衆

35、近江八幡市にある西の湖には、先人から大切に引き継がれてきた農耕文化と豊かな水辺生態系が調和した、湖国の原風景と言うべき文化的景観があります。今なお、田船で通って、田んぼ（水田）を営んでいる西の湖内の飛び地（田船でしか行くことのできない市内唯一残った水田）を何とっていますか。

- ①権座 ②渡船 ③白王飛地田 ④円山水郷田 ⑤北の庄湖水田

36、近年発見された「前野家文書」には、秀次の家臣で秀次事件に連座して賜死した蜂須賀小六正勝の盟友であった前野将右衛門長泰のことや、秀次事件後石田三成の家臣となり関ヶ原で戦死した舞（＝前野）兵庫など戦国期から安土桃山時代にかけての前野家の動向のことが記されている。俗にその本＝「前野家文書」のことを世間的には何と呼ぶか。

- ①次郎縁側日記 ②武功夜話 ③覇信長記 ④三河物語 ⑤異天正記

【環境】

37、市内の大島・奥津島地域に自生する果実で、「伝説の霊果」と言われている。天智天皇が蒲生野に狩りに出かけた折、この地で、老夫婦が差し出した果実を食して以来、今日まで毎年、皇室と近江神宮に献上している果実のことを何と言うか。この時、天皇の発した「〇〇なるかな」という言葉が、そのまま果実の名前の由来となっています。

- ①アケビ ②むべ ③山うり ④まくわうり ⑤山ぶどう

38、昔々お世話になった 勸修寺（かじゅうじ）ユースホテル。今では名前も変わって近江八幡ユースホテル。登録有形文化財『明治の館』として活用されながら保存されています。別名「狸御殿」ともいわれています。もっと昔は蒲生郡勸業館だった建物を移築したものです。金田コミセンにその時の勸業館に寄付した記録が残っていました。ところで勸修寺（かじゅうじ）といえば京都山科にある真言宗の門跡寺院が有名ですが、室町～戦国時代に活躍した公家の武家伝奏の「勸修寺晴豊」も有名です。さて彼は何をしたので有名なのでしょうか。

- ①斉藤道三に謀反を奨めた ②木下秀吉に羽柴姓を奨めた ③家康に今川からの独立を奨めた ④信長に関白を奨めた ⑤小早川秀秋に西軍を裏切ることを奨めた

39、昔は、上野神社や日牟礼八幡宮の境内でも「馬かけ（競い馬）」が行なわれていたが、近年は全く途絶えていた。しかし「足伏の走馬」として復活させた神社がある。それはどこか。

- ①岡山神社 ②加茂（賀茂）神社 ③五社神社 ④若宮神社 ⑤大島神社 □

【自然】

40、富山県、石川県、福井県が主な生息地であるが、滋賀県では近江八幡市だけに生息している珍しい生物がいる。昔、北陸からの産物が八幡堀を通過するときに、ここで下車した荷物・材木等に付いていたとされている。その生物の名前は。

- ①北陸クモ ②イシカワムカデ ③ツルガマイマイ ④フクイガエル ⑤エチゼンカミキリムシ □

【観光】

41、役行者の開基とされる伊崎寺の年中行事として知られているが、毎年8月1日に行われる行事である。起源は天台修験の修行に一つの捨身であるが、他にも湖上往来の船舶に喜捨を求めた名残りとも云われる。内湖が干拓される以前は、近郷から田船に乗った見物人が訪れ酒宴が繰り広げられ大いに振わったとされる行事は何か。

- ①伊崎の橋わたり ②伊崎の竿とび ③伊崎の願かけ ④伊崎の御柱 ⑤伊崎の火わたり

□

【文化】

42、近江八幡市は韓国慶尚南道の密陽（ミリャン）市と姉妹提携を結んでいます。さて韓国には韓民族の歌としての「アリラン」があります。そのアリラン発祥とされる場所がいくつかありますが、韓国三大アリランといわれているのが「珍島アリラン」（全羅南道珍島郡）と江原道地方の「旌善(チョンソン)アリラン。そして、もう一つは、どこでしょう。 韓国歴史ドラマ「アラン・サト伝」で有名です。

- ①密陽アリラン ②安東アリラン ③慶州アリラン ④晋州アリラン ⑤全州アリラン

□

【経済】

43、土地改良区は土地改良法に基づく土地改良事業を施行することを目的として設立された法人で、水利施設の新設・改良や管理、開田畑、干拓、これらの災害復旧、農地の区画整理、交換分合などの土地改良事業を実施している。「水土里ネット（みどりネット）」という愛称で呼ばれているが、市内にもいくつかの土地改良区が存在しています。しかし、市内で唯一、水田をしてはならない土地改良区があります。それはどこでしょうか。

- ①岡山土地改良区 ②日野川流域土地改良区 ③津田内湖土地改良区

- ④琵琶湖用水土地改良区 ⑤水荃干拓土地改良区 ⑥大中土地改良区 □

【自然】

44、市内武佐学区にある長光寺の寺は安産の仏様として信仰を集めている。推古天皇の頃、聖徳太子によって創建されたという名刹です。このとき太子がお妃の平産を喜び植えられた木（植物）は何です

か。別名「はなかえで」とも「おたふくの木」ともいわれ市の指定天然記念物になっています。日本最南端に生息している植物学上も、貴重な木です。

- ①ハナイチョウ ②アカスギ ③ハナノキ ④ハナクソノキ ⑤ハナミズキ □

【街道・地理】

45、朝鮮人街道（ちょうせんじんかいどう）は、近江国（滋賀県）に存在した近世の脇街道である彦根道（ひこねみち）、京道（きょうみち）および八幡道（はちまんみち）の異名である。中山道（上街道）との比較で下街道・浜街道、あるいは朝鮮人道、唐人街道などともいう。距離は約41km。滋賀県野洲市行畑で中山道から分岐し、琵琶湖沿いを仁保～小船木から八幡へ入り西ノ庄・安土・彦根を經由して、滋賀県彦根市鳥居本で再び中山道に合流した。元元は織田信長が岐阜城から安土城を經由して京都に向かう道として整備したもので、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利し凱旋した街道として別名「●●街道」とも云われる。そのため將軍上洛用に使われ、参勤交代での使用は認められていなかったが、唯一朝鮮通信使には通行が認められていたため朝鮮人街道の名がある。関ヶ原合戦に勝利した家康が通った縁起のよい街道を何というか。

- ①さざなみ街道 ②戦勝街道 ③上洛街道 ④凱旋街道 ⑤勝利街道

46、江戸時代、朝鮮通信使の通行は前後12回。宿泊地は彦根市の宗安寺で、「李朝高官の肖像」が残されている。昼食所として近江八幡市の本願寺八幡別院が使われ、現在も「副使の書」が残されている。この朝鮮通信使の関連で縁地連の「第8回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 近江八幡大会」が開催されました。その時、天和二年（1682年）第7回朝鮮通信使が、近江八幡の本願寺八幡別院で昼食を食べたという記録（慶應義塾大学図書館蔵「宗家記録」）をもとに三使（正使、副使、従事官）への饗応料理を再現製作もしました。その近江八幡大会を実施したのは近江八幡市と市国際協会ですが、通信使行列には市民あげて協力しました。その時だけは市内は朝鮮色に染まりました。（近江八幡大会があった）その年は何年でしょう。

- ①2001年 ②2002年 ③2005年 ④2007年 ⑤2010年 □

47、江戸時代に江戸・日本橋を起点として五街道が整備された。その五街道のうちで第66番目の「武佐宿」を通過して京都・三条大橋に至る街道の名前は何か。

- ①東海道 ②北国街道 ③中山道 ④八風街道 ⑤東山道 □

【観光】

48、近世初期より今日まで運用されている運河というか水路の名前は何か。幅員約15メートル、全長6キロメートルに及ぶ。豊臣秀次が八幡城を築城した際、城下町として整備され、城を防御する軍事的な役割と琵琶湖の水運（当時の物流の要）を利用する商業的役割を兼ね備えた。八幡城廃城後の江戸時代には、近江商人（八幡商人）による町の発展に大きな役割を果たした。しかし昭和になると、運河の機能を失った堀は、汚泥を掬い上げる「川ざらえ」が廃れ、川底にヘドロが堆積し、悪臭を放つようになった。昭和45年地元は堀の改修を市に陳情し、堀を埋め立てて公園と駐車場にする計画を立てられた。しかし、ある「団体」が中心になり堀を近江八幡の誇りとして蘇らせよう

と、改修計画の見直しを迫り、八幡堀復活を求めて署名運動・自主清掃活動を行った。1975年（昭和50年）、「よみがえる近江八幡の会」が設立され、堀の保存修景運動は、市民全体の運動へと展開した。そして、1976年（昭和51年）、堀の全面浚渫工事が着工された。昭和57年、国土庁の「水緑都市モデル地区整備事業」に指定され、堀の石垣が復元され、堀沿いに遊歩道・親水広場が作られた。八幡堀復活に最初に立ち上がった「ある団体」とはどこか。

- ①近江八幡青年会議所 ②近江八幡市青年団体連合会 ③近江八幡市地域女性団体連合会
④近江八幡市連合自治会 ⑤八幡学区子ども会連合会

49、平成4年、八幡学区の水路で「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」として「新町通り」「永原町通り」「日牟禮八幡宮境内地」とともに国の重要伝統的建造物群保存地区として選定された。今では水運が復活し、「たそがれコンサート」で市民の憩いの場となり、また江戸を舞台とした時代劇ドラマや映画の格好のロケ地になっている。その水路の名前は何と言っているか。

- ①新町浜堀 ②宮内堀川 ③八幡堀 ④船木川 ⑤多賀堀 ⑥道頓堀

50、西の湖に和船を浮かべての水郷めぐりが、近江八幡観光の目玉の一つとなっているが、「春色、安土・八幡の水郷」として昔（琵琶湖国定公園が制定されて）から云われている景観名所のことを何八景の一つと言うか。

- ①琵琶湖八景 ②近江八景 ③湖国八景 ④琵琶湖周航八景 ⑤八幡名所八景

【歴史】

51、秀次事件に連座して、京都河原で死刑になった「駒姫」は誰の娘だったのか。この事件で豊臣家に恨みをもった「駒姫」の親は、関ヶ原合戦では東軍につき、豊臣家の寿命を縮めた。その親の名前は。

- ①伊達政宗 ②最上義光 ③黒田長政 ④藤堂高虎 ⑤菊亭晴季

【民俗】

52、近江八幡市の語源の「八幡」は日牟禮八幡宮からであるが、その日牟禮八幡宮の祭神は「応神天皇」となっているが、全国的な八幡神社系統の総社は「宇佐八幡宮」である。元々は、宇佐八幡宮には応神天皇が拝んでいた鍛冶の神が祭られていた。宇佐八幡宮は、秦氏が創建したと伝えられ「八幡」とは「ヤハタ」と読み「秦氏の神」を意味する。「八」は八百万神の八であり八岐大蛇の八であり、古代から「八」は聖数とされ、八を用いた八十（やそ）、八雲、八咫鏡、同様に「数が大きい」（末広がり）という意味で用いられてきた。秦氏は弓月君を祖とする大陸系出身だろうと考えられている。さらに伏見稲荷大社も秦氏の創建で有名である。それはともかくとして、全国で一番、多い神社は次のうち何系統の神社であろうか。

- ①八幡神社 ②稲荷神社 ③出雲神社 ④山王神社 ⑤熊野神社

53、近江八幡市の鬼伝説は「今昔物語」にも載っている程なので有名であるが、「鬼」といえば大江山の酒呑童子、羅城門の鬼の茨木童子、近江の伊吹童子も有名である。特に伊吹童子は日本武尊（ヤマトケル）が伊吹山の神々と戦い負傷したときの手強い相手（まつろわぬ者）である。この鬼の名に童子が付くの

は、河童（カッパ）、山童（ヤマワ）と同様に人間ではなく妖怪として扱われたということである。民俗学の柳田邦男は「妖怪とは神の零落した姿」とした。では、神話に登場する天目一箇神（＝同一神とされるのが天御影命＝三上山の御上神社の祭神）として扱われたり、一つ目小僧という妖怪として扱われた人々は、誰なののでしょうか。「ひよつとこ」とも関連があります。余談であるが、サンカは三井とも関係があるという。また三越の屋上には三囲神社の鳥居が祭られているという。それは秦氏とも関係があったのかもしれない。

- ①木こり・杣人 ②猟師・マタギ ③鍛冶・タタラ ④山賊・盗賊 ⑤漁師 □

【産業】

54、近江八幡市の特産品といえば、この食品が有名です。かなりインパクトのある色をしています。といっても別に辛子が入っているわけではありません。食べてみると、ごくふつうです。この独特の色は、三二酸化鉄という食品添加物によるもの。しかもこの「食品」は近江八幡の奇祭としても知られる「左義長まつり」と信長に大いに関係があったことをご存知ですか。もとはといえば左義長まつりは、安土城下で織田信長が自ら女装して踊り出し、より一層祭りを盛大なものにしたのが始まりといわれています。その後安土城が廃城になり、隣の八幡山下に八幡城下町が開かれたことから、多くの町人が安土城下から移り住みました。このとき、左義長まつりの山車に飾られる赤紙にヒントをえて、近江商人が考案したと言われる説がありますがはっきりしたことは分かっていません。ただ、近江八幡では昔から、冠婚葬祭や学校給食等で幼い頃から生活と共に存在します。色は、三二酸化鉄という鉄分で染められていますので健康的にも優れた食品です。地元では古くから親しまれている八幡名物。医食同源、美味健康とも言われる通り、「鉄骨〇〇」とも呼ばれ、ノンカロリーのヘルシー食品としてダイエットにも最適です。その食品の名前は。

- ①近江牛肉 ②ちょうじ麩 ③赤こんにゃく ④でっちようかん ⑤ういろ □

【国際】

55、イタリア・ロンバルディア州のマントヴァ市と近江八幡市は旧安土町との合併と同時に姉妹提携を結びました。マントヴァ市と近江八幡市（旧安土町）は何の縁で姉妹提携を結んだのでしょうか。

- ①安土城屏風絵 ②天正遣欧使節 ③水環境の保全 ④県と州が姉妹提携を結んでいるから ⑤信長サミット □

56、文禄・慶長の役の後、朝鮮通信使が派遣されるきっかけとなった探賊使の四暎大師（サミョンテッサ）は、密陽市出身の義僧です。秀吉軍に捕虜とされた朝鮮人民を連れ帰ることが目的でした。以後第1回～4回の朝鮮通信使は主に戦後処理が任務でした。日本でも有名な四暎大師は、日本名では何と呼ばれていますか。親善で密陽市に行ったら必ずこの人のミュージアムに案内されるでしょう。

- ①川崎大師 ②松雲大師 ③朝鮮大師 ④村雲大師 ⑤東照権現大師 □

【産業】

57、近江八幡のヨシ産業は古く、信長時代にはヨシが年貢として納められていたと記されています。当市の円山町周辺のヨシは江州ヨシと呼ばれその品質の良さは全国的に有名です。一般的な用途は、す

だれ・衝立・屋根や天井等の建材、茶畑の覆い等に使用されます。変わったところでは、ヨシの根は漢方薬として、熱を冷まし吐き気を沈める効果やふぐの解毒救急にも適しているとされています。近年は、ヨシを原料にして名刺や便箋等の商品開発が行われ身近な物となり世の中に出ています。また、ヨシで作られた楽器で、コンサートも開催されるなど、ヨシの果たす役割や魅力を訴える活動が様々な形で行われています。このヨシで作った楽器を何というでしょう。

- ①ヨシ太鼓 ②ヨシ切り ③ヨシ笛 ④ヨシフルート ⑤ヨシピッコロ

58、ヨシはイネ科ヨシ属の多年生草本です。万葉集や日本書紀等では「豊葦原」といい「ヨシ」という言葉は使われておらず、平安末期頃に生まれてきたようです。これは、当初使用されていた「アシ」が「悪し」につながるため、ヨシ「善し」に変化したとされる説があります。余談ですが、江戸の吉原は元々「葦」が群生する湿地帯でしたが、「アシハラ」では、悪所とされる場所だけに「ヨシ」を意図的に使ったと云われている。漢字では「葦」と「葭」で区別している。「葦」と「葭」の違いをあえて言うなら「するめ」と「あたりめ」の違いです。また、ヨシの中で鳴く「葦原雀」はそうぞうしい鳴き声から「行々子(ぎようぎようし)」ともいうが、なんという名前の鳥ですか。

- ①ウグイス ②ヨシキリ ③カイツブリ ④ツバメ ⑤ヒバリ

【寺社史跡】

59、豊臣秀次の子孫が生き延びていたことを知っていますか。近江八幡市の洞覚院には秀次の娘「玉姫」の御廟所があります。おそらくそれは幼い時に亡くなったものでしょう。ちなみに、秀次には多くの側室と子どもがいましたが、秀次事件で、秀吉によってほとんどが処刑されてしまいます。そんな中で、秀次の正室一の台（菊亭晴季の娘、秀次事件で処刑）が生んだ娘だけが生き延びていました。彼女（隆清院＝なお又は清子ともいう）は、真田信繁、通称真田幸村に側室として嫁ぎました。娘、息子を一人ずつ授かり、大坂の陣で信繁（幸村）が討ち死にしてからも、秀次の母（とも）を頼って、瑞龍寺に身を寄せたりしながら、逃げ延びることができたようです。その隆清院の娘、お田（おたあさま、御田姫・顕性院）は、大坂の陣のあと徳川方に捕まりますが、江戸の大奥で3年間働くという比較的軽い処分です。大奥といえば、「お江」の居場所です。その江戸城に「大奥」を作り「お江」と対立した人物は誰でしょうか。

- ①春日局 ②大蔵卿 ③淀君 ④桂昌院 ⑤天英院

60、徳川秀忠の正室お江（江与）の義理の兄＝秀次の孫に当たる娘さんが、巡り巡って「お江」のそばで働いていたのも不思議な巡り合わせです。大奥でのお勤めを終えたあと、お田は、出羽（山形・秋田）亀田藩藩主、岩城宣隆に見初められ、側室として嫁ぎ、跡継ぎを産みました。隆清院の息子、幸信も、姉のお田が嫁いだ岩城宣隆に引き取られ、亀田藩に仕えました。幸信は元服後、秀次が養子に行く前の元々の名字、「三好」を名乗りました。会うことさえ叶わなかった祖父の名前を、大事に守って生きてのです。隆清院・お田・幸信は今、秋田県由利郡岩城にお田が開いたお寺、妙慶寺のお墓で眠っています。妙慶寺は、顕性院が真田家菩提の為、寛永6（1629）年に建立した寺であるという。悲劇的な最期を遂げた秀次ですが、その子ども、孫はどうにか生き延びて、厳しい運命に立ち向かい遠い地でが

んばって生き抜きました。秀次の生きた証は、ちゃんと次の世代に繋がっていました。さて、隆清院は真田信繁の側室でしたが、信繁の正室（竹林院）は誰の娘（その武将の名前＝信繁の義父）でしたか。その子ども（嫡男）に真田十勇士に数えられる真田大助幸昌がいるが大阪夏の陣で秀頼と共に亡くなりました。

- ①石田三成 ②本多忠勝 ③大谷吉継 ④上杉景勝 ⑤伊達政宗 □

【政治】

6 1、旧安土町と合併した平成22年の合併時の初代近江八幡市長は富士谷英正氏だが、昭和29年（昭和6大合併）に八幡町・島村・岡山村・金田村など旧8学区が合併して（旧）近江八幡市制となった時の初代近江八幡市長は誰か。

- ①井狩貞之 ②川端五兵衛 ③奥野 登 ④井上孫次郎 ⑤玉田盛二 □

6 2、近江八幡市池田町の生まれで、生家は八幡商人で代々「薬屋」を営んでいた。江戸時代には、町衆代表の一人として横暴な代官（当時、八幡は天領であった）から朱印状を勝ち取ったとされる。朝鮮通信使が八幡を通過するときには、家に行列の一行を休憩させたと記録にもある由緒ある家系。亭主は代々「五兵衛」を名乗った。そのため屋号は「薬五（ヤクゴ）」という。その家から出た日本国の大臣（総務大臣、文科大臣等を歴任）を務めた人の名前は。兄は市長も務めた。

- ①川端達夫 ②武村正義 ③川端五兵衛 ④宇野宗佑 ⑤細野豪志 □

【宗教】

6 3、1579年（天正7年）、安土城下の浄厳院で行われた浄土宗と法華宗との仏教に関わる理論問答＝論争のことを何というか。別名は安土問答とも称されている。織田信長の命により、浄土宗の僧と、法華僧の間で行われた。5月27日、安土城下の浄土宗の浄厳院で問答をさせた結果、法華宗が負けて、今後他の宗派を非難しない旨を記した誓紙を出させられたという。

- ①安土宗論 ②安土裁判 ③安土説法 ④安土教化 ⑤安土論争 □

【興行】

6 4、JR安土駅の南広場にある大きな相撲櫓。「平安楽土」から「安土」の名が付いたとされる安土時代に織田信長が興行としての相撲を奨励し、東西制の導入や丸い土俵の原型を考案者したとされています。それまで相撲は神事であり武芸であった。信長自身が相撲好きであり、堀久太郎や氏郷や阿閉なども参加したとあり、5回も常楽寺で大相撲安土場所を主催していると「信長公記」にも相撲の記載あり。そのため元亀元年(1570)に織田信長が開催した相撲興業が近代相撲の発祥と言われています。安土では近代相撲発祥の地ということでこの土俵櫓のモニュメントがあります。相撲といえば垂仁天皇7年の当麻蹶速（たぎまのけはや）と野見宿禰（のみのすくね）の話があり奈良県桜井市と當麻町が「相撲発祥の

地」とされているのではないかと疑問を持ちましたが、安土は、「近代相撲の発祥の地」といわれており「近代」という2文字が付いているのです。余談ですが、両国国技館には相撲好きだった信長が相撲の取り組みを見物している姿が壁に大きく描かれているそうです。それでは、問題です。世界にも日本相撲（角力）とよく似た格闘技がありますが、いま日本にいる外国人力士で、一番多く経験している出身国の格闘技はどれですか。

①ブフ（モンゴル相撲） ②ブータン相撲 ③ケネ（チベット相撲） ④シルム（朝鮮相撲） ⑤ヤールギュレシ（トルコ相撲）

【経済】

65、近江商人の商売の方法はいわゆる「のこぎり商法」といわれるものであったが、江戸時代中期になると蝦夷地に渡り、松前藩士の知行地の「場所請負制度」と言って、知行主に運上金を納めさえすれば、その場所からとれる産物を流通交易（産物廻し）したり漁場開拓などの商売で北海道開発に携わって貢献した近江商人も多くいる。八幡商人では、古平・小樽を拠点として活動し、登別温泉を発見したとされ、屋号を恵比寿屋と称した八幡商人は誰ですか。

① 岡田弥三衛門 ②西川伝右衛門 ③近藤重蔵 ④藤野喜兵衛 ⑤西川庄六 □

【人物伝記・レジェンド】

66、本能寺の変のきっかけになったとも伝えられる料理「安土饗応（きょうおう）膳」が近江八幡国民休暇村宮ヶ浜で再現された。本料理は『続群書類従』所収の「天正十年安土御献立」をもとに再現したもので、天正10年（1582）5月15日、織田信長が安土城に徳川 家康・穴山梅雪を招待したとき、もてなしたとされる料理である。家康を接待するため、光秀に饗応役を命じたこと、そして途中で饗応役を解任したことが本能寺の変につながったとされている歴史的に重要な料理である。ところで、山崎の合戦で敗れた明智光秀は山科小栗栖で農民に殺されたとされているが、「天海」僧正として生き延びたとも云われている。また明智の子孫（庶子）も土佐に逃れて生き残り、幕末には船中八策を提案し、維新回天に功績があったという。その子孫と云われる人物は誰か。

①武市瑞山 ②板垣退助 ③後藤象二郎 ④坂本竜馬 ⑤岩崎弥太郎 □

67、豊臣秀次の家臣に、浅井 井頼（あざい いより）という武将がいた。通称は喜八郎。浅井長政の三男（または次男）で浅井万福丸の弟と伝わる。号は作庵。天正元年に織田信長によって浅井氏が滅ぼされたとき、信長の残党狩りから逃れた。1583年の賤ヶ岳の戦いで羽柴側に属し、その後に豊臣秀次の家臣となり、600石の知行を与えられる。1600年関ヶ原の戦いでは生駒親正の隊に属し、西軍に付いた。慶長19年（1614年）、大坂冬の陣で大坂城に入り、二の丸の東を守備し、落城後に大坂を脱出し、常高院（お初）を頼り若狭小浜藩の京極忠高の家臣となって「京極作庵」と名乗ったとされる。また、香川県丸亀市の京極家の菩提寺である玄要寺に浅井井頼と伝わる墓がある。真田十勇士の根津甚八のモデルともされる人物。さて次の人物で近江国（滋賀県）出身でない武将は誰か。

①京極高次 ②蒲生氏郷 ③藤堂高虎 ④石田三成 ⑤山内一豊 □

【祭り】

68、夏の祇園祭といえば京都が有名ですが、江戸時代より続く近江八幡市浅小井町の「祇園祭」も有名です。毎年7月の第3土・日曜日に行われます。宵山（土曜日）は、神社で松明を奉火し、夏の病除けを祈願する行事が行われ、山鉦巡行。日曜日には、6基の鉦が浅小井町を巡行します。京都の「祇園祭」は平安時代869年（貞観11年）に全国に疫病が流行したため、八坂神社（京都）の祭神の祟りとして勅命によって除疫を祈ったことによるといわれ、それが各地に広がっていったものと思われる。近江国でも祇園祭が各地で行われているが「曳山」がでる地区は「大津：大津祭り」「長浜：長浜曳山祭り」「日野：日野祭り」「水口：水口祭り」「米原：米原祭」「浅小井：祇園祭り」「大溝：大溝祭り 高島市」「愛荘町岩倉：堅井曳山祭り」と、いずれも町場として近世に栄えたところである。浅小井地区は幕末の豪商「小西九兵衛」が現れるなど米作や「イグサ：畳表」の生産で経済面で大いに潤い祇園祭りも盛大に行われ今宮天満宮境内にある津嶋神社の祭りとして曳山巡行が現在にも連綿と引き継がれている伝統行事である。では、その祇園祭りの中心となる神様はなんというか。

①素盞鳴尊 ②月読命 ③天照大神 ④大国主命 ⑤イザナミ命

69、ところで、京都の「祇園祭」は元々はヘブライのシオン祭りが起源らしい。八坂神社の祭神は牛頭天王とされ、全国の祇園の神様と同一神とされているが、「蘇民将来」の「蘇民」とは誰なのか明らかでない。祇園祭に登場する山車の中には、古代ヘブライで用いられた文様が存在していることを研究している人もいる。山鉦のタペストリー図の例から、失われたイスラエル10氏族「日ユ同祖論」という説も昔から存在する。そのため小池一夫原作、池上遼作画による漫画「赤い鳩」（アピル）では、幕末の京都を舞台に主人公たちが日本人のルーツと古代ユダヤの関係の証拠を探す旅をするストーリーになっているので関心のある方は一度お読みください。最近レンタル店で手に入ります。ちなみに「日ユ同祖論」とは直接関係ないが、人道的見地から、第二次世界大戦時に、ヒトラーの暴政からユダヤ人を救出したことで有名になった日本人は誰か。（杉原千畝）

①美濃部達吉 ②杉原千畝 ③小辻節三 ④東條英機 ⑤樋口季一郎 □

70、祭りの起源は、はっきりしないが白雉4年（653年）遣唐大使として唐に渡り飛鳥時代に活躍した遣唐使の先駆けである「吉士長丹（きしながたに）」が祀られている近江八幡市宇津呂町の「公礼八幡宮（神社）」では、毎年、旧暦の六月一日に近い日曜にしもやけ封じの奇祭「公礼八幡宮足洗祭」（足洗い行事）が行われます。日本書紀では「吉士長丹」が唐の皇帝から封戸200戸と呉氏の姓をも与えられたとある。「吉士長丹」が賜った200戸の封がこの宇津呂の辺りで住わし、公礼は呉で、八幡小学校の近くにあり公礼八幡と呼ばれている。ところで、遣隋使として小野妹子を派遣したのは聖徳太子と云われているが、遣唐使を廃止することを天皇に建議した人物は誰か。

①大伴家持 ②藤原不比夫 ③藤原道長 ④菅原道真 ⑤平 清盛 □

【特産品】

71、近江八幡市の特産品として「竹製品」があげられますが、日本最古の物語といわれる「竹取物語」あるいは別名「かぐや姫物語」に登場する人物の石作皇子、車持皇子などは権力者の藤原氏がモデルで

あると云われている。この物語の作者についても諸説あるが一番有力な人物（作者）は次のうち誰か。

- ①藤原定家 ②紀貫之 ③小野小町 ④紫式部 ⑤清少納言 □

【民俗】

72、市内には、神仏習合で実施される「十三仏講」（5月15日：廻り念仏講）が今に伝わっています。日牟礼八幡宮と仏光寺八幡別院が同席し、神事と併せ念仏和讃を唱えます。明応年間、近江国に疫病が流行したとき十三カ村惣中（八幡まつりの氏子郷）に仏光寺より仏画十三幅の図画が下賜され、八幡宮拝殿にその十三幅を掛け、宗派の別なく念仏和讃を勤めたところ疫病も止んだ、と言われており、その十三仏の廻り念仏講が各村で行われます。その仏画に書かれている「仏様」は何という如来でしょうか。なお通常、十三仏信仰といわれる十三回の供養（初七日～三十三回忌）をそれぞれ司る仏・菩薩で知られる閻魔・初江王をはじめとした十王信仰とは別のものです。

- ①釈迦如来 ②薬師如来 ③大日如来 ④阿弥陀如来 ⑤毘盧舍那如来

【歴史・合戦】

73、北海道松前町とは八幡商人の場所請負制に関わって姉妹都市提携を結んでいます。江戸時代に近江商人が蝦夷地・松前藩への知行地に商場・場所請負で進出する時期になると、アイヌと和人との衝突もおおくなり、「アイヌ勘定」という侮辱的な言葉も生まれています。不平等な交易独占に対して起こるべくして、蝦夷地ではアイヌの和人に対する反乱が occurred。江戸時代にアイヌ三大蜂起といわれるもののうち、違うのはどれですか。

- ① ナシリ・メソナの戦い ②コシャマインの戦い ③アテルイの戦い ④シャクシャインの戦い

□

74、本願寺第8代門主である「蓮如」が山科本願寺を焼け打ちされ、越前国吉崎御坊まで逃れる際、近江八幡にも立ち寄っている。蓮如上人については、浄土真宗の本願寺派や大谷派では「ご文章・お文」といわれる「お手紙」が有名である。そのお手紙で蓮如上人は「本願寺門徒と一向宗（浄土宗の一派：一向俊聖上人）は違うものであり加担してはならない」と再三にわたって戒められているのをご存じだろうか。さて、彼の戒めにも係わらず、その後、本願寺教団は大阪に本拠を移し、戦国時代には石山本願寺合戦として織田信長と戦った。俗に一向一揆というが、その時の本願寺住職・門主は諱を本願寺光佐とも云われるが通常は何という僧名（法名）か。本来の一向宗の本山は滋賀県米原市にある蓮華寺であることに留意。

- ①覚如 ②顕如 ③准如 ④即如 ⑤実如

75、安土セミナリヨ（初等神学校）は、昔、天正9年（1581年）日本最初のキリシタン神学校としてイエズス会のオルガンティノ宣教師（神父）が信長に働きかけ建設されましたが、安土城炎上の際にセミナリヨも焼失しました。今は跡地として公園になっています。イエズス会で日本に最初に布教にきた人は、フランシスコ・ザビエルです。同時期にイエズス会はポルトガルの先兵として世界に布教を開始しています。今でもカソリック教徒が80%を占めるイエズス会が先兵となり布教した「滝」で有名な国はどこですか。

- ①カナダ ②ブラジル ③フィリッピン ④インド ⑤アルゼンチン

76、織田信長は、南蛮からの文化に興味を示し、自分の甲冑も南蛮胴にしようぐらいです。キリスト教も庇護して布教に支援しました。その結果、信長の家臣・陪臣には結構、キリシタン大名が多くいます。豊臣秀次関連で言えば豊臣秀吉の家臣であった次の者のうちキリシタン大名は誰ですか。

- ①加藤清正 ②黒田官兵衛 ③竹中半兵衛 ④山内一豊 ⑤仙石権兵衛

77、織田信長の時代で、キリシタン大名（キリスト教に入信し洗礼を受けた大名）でない武将は誰ですか。ただし、彼の娘は洗礼を受けておりガラシアと呼ばれました。

- ①高山右近 ②明智光秀 ③有馬晴信 ④小西行長 ⑤蒲生氏郷

【行事】

78、「神様が土を掘り、その土を運んでつくりあげたのが富士山、掘った後が琵琶湖」との昔話をもとに、日本一高い山”富士山”、日本一大きな湖”琵琶湖”、この二つの日本一を持つ両市が、昭和43年8月、国内でも大変めずらしい夫婦（めおと）都市の提携を結びました。毎年、富士登山をして琵琶湖の水を富士山頂に持っていき、また富士山の水を琵琶湖に返すという行事を続けている団体が近江八幡市にありますが、その団体の名前は何ですか。

- ①琵琶湖と芦ノ湖を結ぶ会 ②琵琶湖と田貫湖をつなぐ会 ③富士（山）と琵琶湖を結ぶ会 ④夫婦都市連絡会 ⑤コノハナサクヤ会

【行政】

79、旧安土町と合併した年に、八学区の公民館が学区コミュニティセンターに移行しました。安土地域においても、コミュニティセンターを作り、運営を「まちづくり協議会」に任すことにしました。その根拠となる条例の名前はなんですか。

- ①近江八幡市自治基本条例 ②近江八幡市学区まちづくり条例 ③近江八幡市協働のまちづくり基本条例 ④近江八幡市パートナーシップまちづくり条例 ⑤近江八幡市都市基盤基本条例

【合戦】

80、千利休が賜死したのは秀吉の朝鮮侵略に商人の立場から反対したからだと言われていました。また日本軍と戦った朝鮮の忠臣李舜臣（イソン）の銅像がソウルやプサンに立っています。2012年5月から8月にかけて韓国麗水市でEXP02012が開催されました。麗水市は壬辰倭乱のとき李舜臣が水軍基地を置いたところでもあります。さて、その李舜臣が使った戦闘船を何と言いますか。

- ①千石船 ②安宅船 ③鉄張軍船 ④亀甲船 ⑤鮫船

【歌】

81、今の子は童謡・唱歌をあまり知らない。しかし童謡・唱歌のなかで、近江八幡市の商家にあったものをルーツとしている歌があるという。それは、次のうち何の歌（童謡・唱歌）でしょうか。

- ①花嫁人形 ②赤い靴 ③浦島太郎 ④ふるさと ⑤近江八景

【美術】

82、「洛中洛外図屏風」(上杉本)は狩野永徳が描いた屏風絵を織田信長が上杉謙信に同盟の証しに送った当時の風俗を知るには貴重で大変歴史的に有名なものである。同じ狩野永徳に描かせた金箔屏風に「安土城之図屏風」がある。安土を訪れたイエズス会宣教師アレッサ・ヴァリニャーノからローマの教皇庁にその「安土城之図屏風」が送られたと、同じ宣教師のルイス・フロイスの「日本史」に記載がある。ヴァリニャーノが離日するとき、同行した日本の使節団がいたが、彼らを何と呼ぶか。彼らは九州のキリシタン大名大友宗麟や有馬晴信の名代としての伊東マンショを正使とする使節団であるが、安土のセミナリヨで学んだ生徒の中から選ばれていたといえます。なおセミナリヨ(神学校)は当時は安土にしか存在していません。

①文久遣欧使節団 ②慶長遣欧使節団 ③天正遣欧少年使節団 ④岩倉遣外使節団 ⑤万延元年遣米使節団

【特産品】

83、天下布武を掲げた信長にとって安土という土地がゆかりある土地であることは、よく知られています。通常の白ネギより身は太く、透き通るように白く、葉も青々として柔らかく、1本まるごと食べられる安土特産の白い根深の太ネギを何というか。食感は、肉厚でジューシー、甘みの強さに特徴があります。安土の生産者が、こだわりを持ち作ったもので、鍋の主役の一品や、そのまま焼いて味噌に付けて食べても秀逸の味となります。料亭をはじめ、有名イタリア料理店やフランス料理店でも幅広く活用されています。

①天下ネギ ②信長ネギ ③関白ネギ ④将軍ネギ ⑤安土城ネギ

【施設】

84、城下町として、また近江商人のまちとして繁栄し発展をとげた八幡の町。往時の町並みなどの歴史的景観に大変恵まれ、周辺は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。「瓦」は屋根の表情をつくり、屋根の連なりが、まちの景観を支えてきたという視点で、瓦の魅力を随所に活かした建物自体が展示物となっています。モノトーンが映えた大変個性的な瓦づくしの建物です。また白壁の土蔵にも自然に溶け込むように瓦に色むらをつけています。八幡瓦と八幡の歴史をテーマにしたミュージアムの名前を何というでしょう。2012年4月より指定管理者制度が導入され、「まちづくり近江八幡」が管理運営しています。もともとは、八幡瓦の工場があった跡です。

①はちまんミュージアム ②ナイトミュージアム ③かわらミュージアム ④白雲館
⑤郷土資料館

【祭り】

85、ドキュメンタリー映画「ほんがら」は松明まつりに使う松明の特殊な作り方(中を空洞にする)を75年ぶりに復活させた町の人々の物語であるが、その町(ちょう)とはどこか。奉納奉火は、4月15日(今は第三日曜日)に地元の若宮神社にされる。

①若宮町 ②牧町 ③島町 ④多賀町 ⑤白王町

【神社】

86、「ナンジャモンジャの木」の通称で知られるヒトツバタゴの木がある、近江八幡市安土町常楽寺にある神社は、宇多源氏・佐佐木源氏の氏神（佐々木大明神）であり全国の近江源氏の末裔の人から篤い信仰を集めている。乃木希典もその一人というが、その神社の名前は。

①沙沙貴神社 ②佐々木神社 ③京極神社 ④宇多神社 ⑤六角神社

【合戦】

87、近江八幡市安土町石寺。ここに我が国最大級の山城跡が残っている。古い時代から山頂近くに西国札所第三十二番の名刹、観音正寺があるので観音寺城という。そこは標高432mの山の東南側全体に巨大な遺構を残し、別名を佐々木城とも呼ばれる。鎌倉初期からの近江守護職、六角佐々木氏の居城である。一般に佐々木六角と呼ばれていた。応仁の時代に築城され、弘治、永録の戦国時代を迎えるころ、佐々木氏の支配下にある近江南部の各武將がこの城中に屋敷を構え兵を置いていた。安土山と峰続きの織山に今も残る巨大な遺構は安土城後も観音寺城は廃棄されず詰めの城として残された証左といえる。長政の義理の兄（信長の妹を妻にする）である織田信長に敗退後、一時期六角氏は歴史上から遠ざかるが、六角義郷が豊臣秀次に見出されて家臣となり1万石を与えられて六角氏を再興する。義郷と共に取り立てられた六角系家臣（元来は彼の家臣）の多くが秀次の直臣となっており、秀次の処断後、秀次付の家臣として連座切腹となった木村重茲（常陸介）・熊谷大善はその代表格である。さて、六角義賢・義治父子のころ近江北部には浅井長政がいた。この長政も六角氏の居城で生まれているが人質であった。彼が六角氏と袂を分かち信長と同盟を結ぶのは何という合戦に勝利した以後（賢政から長政に改名）であったか。ちなみに肥田城合戦は、戦国時代の最初の「水責め」として有名です。

①肥田城合戦 ②野良田の合戦 ③姉川の合戦 ④瓶割山合戦 ⑤小谷城合戦

88、浅井長政と織田信長が同盟を結ぶのは、信長の妹「市」が長政に嫁いだからである。戦国時代には、嫁入りと言っても人質と同様であったが、長政と市の仲はよく、三人の戦国の女性代表する娘を産んでいる。のちに「淀殿」と呼ばれ豊臣秀吉の側室となる女性の幼少の頃の名前はなにか。

①江 ②初 ③茶 ④禰（ね） ⑤福

【特産品】

89、近江八幡の特産品に「丁稚羊羹」があります。丁稚羊羹の名称は全国的にあるみたいで、隣県の福井の丁稚羊羹は水羊羹系で、本市の丁稚羊羹は漉し餡系です。昔は商店には年季奉公の丁稚・女中がおりました。八幡商家は特に多かったといいます。近江商人ゆかりのお菓子「丁稚羊羹」この名前の由来は、今でいう店員が、当時は年に2回（盆と正月に）だけ実家に帰ることができました。結婚した年に嫁が嫁ぎ先から実家に帰ることも、そう呼ばれましたが、彼ら彼女らが実家へ帰る時のお土産にした、というのが「丁稚羊羹」のルーツだと云われています。逆に近江商人発祥の地「近江八幡」から全国へ丁稚奉公に出た子供たちが帰郷した折りに奉公先への主人へお土産として持ち帰ったことから丁稚の羊羹とも言われています。竹皮に包まれたこの素朴なお菓子は、かの有名な民俗学者「柳田国男」からも「これぞ近江の味」と絶賛されました。その丁稚等が年に2回、帰省できる制度を何と言いましたか。落

語にもあります。特にお盆に帰省するのを「墓参り」とも言いました。

①大山詣り ②付き馬 ③時蕎麦 ④藪入り ⑤芝浜

90、約1200年前中国から日本にやってきたと言われ、栄養面で優れた食品であることから厳しい修行をする僧侶の間でも古くから食されてきました。原料は小麦粉と塩と水で、これをよくこねて水の中でもみ洗いすることにより澱粉が流れ出し植物性タンパク＝グルテンが残ります。このグルテンが元となった食品です。近江八幡開町の祖「豊臣秀次」が兵糧食として携行に便利のように四角の物を作らせたのが始まりといわれます。この食品の表裏には城下の民を忘れぬために小径を表す印として線が入っています。そして、この条里制の～丁、～字、を表す言葉が食品の名前になりました。その近江八幡の特産品は何ですか。それを入れた「からしあえ」は郷土料理としても有名です。

①白ねぎ ②赤しぐれ ③赤こんにやく ④ちょうじ麩 ⑤湯葉

【宗教】

91、秀吉の実姉で、秀次、秀勝、秀保の兄弟の母の名前は誰か。尾張の百姓弥助（後の三好吉房）に嫁ぎ、三人の子供を産みました。弟の秀吉が出世すると弟に召出され、家族で秀吉の元に移ります。秀勝は文禄元年（1592）に朝鮮出陣中に亡くなり、文禄4年（1595）4月に秀保が亡くなり、同年7月には秀次が弟の命で切腹するなど次々と不幸が続きます。秀次が亡くなると剃髪して、秀次らの菩提を弔うため村雲の地に寺を建てます。彼女が住む寺には後陽成天皇から寺領千石と「瑞龍寺」の号が下賜されました。寛永2年（1625）に徳川幕府から500石を寄進されましたが彼女は同年に亡くなります。

（瑞龍院日秀 智子）

①朝日姫 駿河御前 ②高台院 おね ③日秀（智子ともこ）④なか 大政所 ⑤淀 茶々

92、近江商人は大阪商人、伊勢商人と並ぶ日本三大商人の一つである。江戸時代になると京都の他に、大坂や江戸といった大都市に進出し、蝦夷（北海道）とも商いをする者も現れて、名のある大企業として今も名を残している近江商人（八幡商人だけではありません）は高島屋、大丸、西武グループ、伊藤忠商事、丸紅、ヤンマー、日清紡、東洋紡、日本生命、東レ、ワコール、西川産業、武田薬品などである。そんな近江商人のうち八幡商人が商家として残したのが新町通りであり、切妻造、瓦葺、平入の木造建築が基本である。正面の構えは格子や出格子、虫籠窓からなり、道路に面する庭には「見越しの●」が有名である。道路に面する塀の向こう側の庭には、何があるのか。

①地蔵さん ②お稲荷さん ③松 ④竹林 ⑤桜

93、琵琶湖周航歌の歌詞には「西国十番」と唄われているが、本当は西国三十三箇所の中の第三十一番札所の観音霊場である長命寺。いまは天台宗系単立寺院で山号は姨綺耶山（いきやさん）という。聖徳太子の開基と伝える。この長命寺の階段は心臓破りで有名だが何段あるのか。

①1008段 ②108段 ③3008段 ④808段 ⑤508段

【商道】

94、近江八幡市名誉市民第1号は、青い目の商人と言われた「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ」氏

であるが、第2号は誰か。西川産業といえば分かるかな。

- ① 西川庄六 ②西川甚五郎 ③西川貞二郎 ④西川伝右衛門 ⑤西川仁右衛門

95、「ふな寿し」は滋賀県独特の保存食です。同じ保存食ですが、現在の「あけぼの印」の缶詰は近江商人（豊郷）の藤野四郎兵衛が「星印」の「シャケ缶詰」として1891年に製造を開始したのが、その前身である。それに先立つ1886年、同じ近江商人（近江八幡出身）の商人が「カニ缶詰」工場を近江八幡に設立しているが、その人物の名前は誰か。八幡銀行の設立（初代頭取）にも関係している人物で初代は南津田出身の八幡商人で屋号は「中一商店」（住吉屋）の第10代目といえば。

- ①西川貞二郎 ②一柳米来留 ③中井源左衛門 ④外村宇兵衛 ⑤堀井新次郎

96、日本で三大商人といえば大阪商人、近江商人、伊勢商人です。ところで映画「てんびんの歌」は近江商人の生き方を描いて有名ですが、ワコールの創業者、塚本幸一氏をモデルにした「さわやかな男」も有名です。（西郷輝彦が演じた「どてらい男」の後編）では、その塚本幸一氏や川瀬源太郎（日本生命社長）、宇野宗佑（元首相）、二代目伊藤忠兵衛などが通った、近江商人の士官学校と云われ、ウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した近江商人輩出の学校の名前は何か。いまの学校名でOKです。

- ①八幡高校 ②八幡工業高校 ③八幡商業高校 ④近江兄弟社（学園）高校 ⑤近江高校

97、佐々木六角氏に仕えていた三井家は近江武士であったが信長の近江進攻とともに伊勢に逃げ屋号を「越後屋」として商売を始めた。それが今の三井・三越の始まりである。また、直接、近江八幡とは関係がないのだが、……豪商鴻池についても、ある戦国武将の子孫が鴻池村で酒造りをはじめたのが最初である。その戦国武将とは豊臣秀吉、織田信長とも縁がある人物で最後には裏切られて戦死するその人物とは誰か。「七生報国」の言葉が有名なである。

- ①雑賀孫市 ②尼子経久 ③山中鹿之助 ④嶋 左近 ⑤大内義隆

【世界】

98、TVドラマでの「イサン」「トンイ」など韓流ブームもまだまだ衰えてはいません。ところで韓国の大邱テグ市友鹿洞ウクトンには降倭の沙也可（サヤカ＝雑賀がなまったものか？）の村があります。そこは日系韓国人が住むといわれ、壬辰倭乱のとき、降伏・投降した日本人「サヤカ」が「金忠善」という名をもらって部下と共に住んだ場所である。今では日韓友好の村として日本人も多く訪れている。そこに行ったとき「近江八幡市郷土史会」の「山中靖城」氏の記念碑を見つけてビックリしました。その「金忠善」が仕えた王は李朝鮮の何という王様ですか。その息子がかの有名な「光海君」です。韓流ドラマを見ている人なら分かるはずです。

- ①世宗 ②宣祖 ③英祖 ④正祖 ⑤燕山君

99、織田信長が当初、安土城下で保護したキリシタンはポルトガル系のイエズス会でしたが、やがて、スペイン系フランシスコ会の宣教師などが、日本人を奴隷として海外へ売り飛ばしている事実を知った豊臣秀吉は、キリシタン布教を禁止した。そのときの南蛮支配地といわれる東アジアの国々のなかで、スペイン王の名前を冠した国がある。それは次のうちどれか。

- ①マレーシア ②フィリッピン ③ジャワ ④ベトナム ⑤ビルマ

100、支倉常長を中心とする「慶長遣欧使節」を派遣したのは、豊臣秀次と仲がよかった（秀次が秀吉に反乱をしていたら必ず秀次に味方したといわれる）青年戦国大名であった。彼は、南蛮貿易が、東シナ海、インド、マダガスカル、喜望峰をめぐる海路であったのに対して、太平洋貿易を試みて、ヌエバ・エスパーニャ（メキシコ）廻りでスペインに行つて外交を実施している。その大名とは誰か。

- ①結城秀康 ②小早川秀秋 ③加藤清正 ④伊達政宗 ⑤徳川秀忠

【差別】

101、近江八幡市では「人権擁護都市宣言」を旧近江八幡市時代から引き続いて行っています。また初代全国水平社の委員長の出生地でもあり、部落問題・人権問題については行政も市民も熱心に取り組んでいます。最近見た韓国ドラマ「済衆院 (チェジュン)」にも日本と同じような身分の者がいた表現がされています。全国水平社と同時代には「朝鮮衡平社」という被差別民の結社も晋州市で作られたという記念モニュメントも残っています。さて、これは、いささか「差別語」なのでしょうが、彼ら賤民身分＝被差別民衆のうち「食肉」関係者を韓国・朝鮮では、なんと呼んで差別していたのでしょうか。

- ①奴婢지 ②妓生기생 ③巫女・巫堂무당 ④白丁백정 ⑤旅芸人가판

【歴史・政治】

102、「桜田門外の変」はご存じであろう。幕末の大老・井伊直弼を安政7年3月3日（1860年3月24日）に江戸城桜田門外（現在の東京都千代田区霞が関）において水戸藩、薩摩藩の脱藩浪士が彦根藩の行列を襲撃して暗殺した事件である。井伊直弼の首級を斬ったのは薩摩藩の脱藩浪士「●●治（次）左衛門」だが、彼自身も重傷を負い、逃げる途中で力尽きて自害している。彼の一家のうち長兄は後に貴族院議員となった海江田（養子に入る）信義（俊斎）である。次兄が雄助、次が桜田門外の変に加わった本人・三男の次（治）左衛門、そして四男の国彦である。問題は、その四男の国彦の子孫が現在も近江八幡市内に在住していますが、なんという名前なのかということです。血筋であろうか、現在の彼も政治家であり、彼の父も妹も政治家であったので市内の有権者なら誰でも知っているはずで

- ①川端達夫 ②徳永久志 ③有村国俊 ④細野豪志 ⑤八幡和郎

【塚】

103、博労町にあった旧近江八幡市役所庁舎を桜宮町に移転したのが昭和45年です。その時、通称「官庁街道路」ができました。その官庁街道路の西には「石碑」が立っています。近江八幡市の中心部にありながら、車の通行量も多く、ひっそりと目立たない存在の「石碑」のいわれなどを知る市民も少なくなっています。碑にまつわる伝説は、豊臣秀次が八幡山城を築城した際に、秀次は腕利きの職人を広く集めたが、そのうち七人が、秘密工事に携わることになったという。しかし、城の完成とともに、城の構造や部屋の配置などの秘密を知ってしまった七人の職人は処刑されてしまった。それを哀れに思った地元の住民が土を盛った土墳をつくり葬ったという。その「石碑」には何と書かれていますか。石碑は

今でも地元の人たちによって大切にされており、地元自治会は、毎年九月の「敬老の日」に、近くの寺の住職を招き、石碑の前で法要を営んでいる。周囲が開発され、住宅地や商業地に変わっても、先人に対する思いは変わらないようです。

- ① 将軍首塚 ②黒橋合戦塚 ③長塚古墳の碑 ④七塚之碑 ⑤耳鼻口無塚

【寺院・神社】

104、織田信長が浄土宗の僧貞安を開山として、安土問答で勝ったご褒美として信長が安土城下に1580年に建立したお寺ですが、八幡城下町を作る際、豊臣秀次が現在地（八幡城下）に移転したとされています。そのお寺の境内には「五輪塔」があり「織田信長の墓」だとされています。このお寺の名前は何でしょう。住職は柴田さんです。

- ① 西光寺 ②洞覚院 ③冷泉寺 ④閑大寺 ⑤西福寺

105、琵琶湖にほど近い市内のある場所に「天満宮」がある。この天満宮は、菅原道真が大宰府に流される途中に立ち寄ったとされる伝説をもつ神社である。道真は、平安時代に活躍したが、時の権力者藤原氏に疎まれて京都から九州の大宰府へ左遷された人で「天神様」として知られる。しかし、京都からどうやって九州へ？近江八幡市は京都からは九州と反対の方向にある。言い伝えでは、当時の道真は、舟で琵琶湖を渡り日本海へ出ることにし、京都をたったが湖上で遭難し現在の神社付近に上陸したという。この天満宮の神事の世話をする「宮仕（みやし）」さんは、「早春に当たる時期は北風が強く、道真一行もこの付近の浜に打ち上げられたのではないか」と話す。にわかには信じ難いが、その伝説を裏付けるものも多く残る。天満宮から南西に500メートルほど離れた民家の軒先には、道真が腰掛けたという石が残る。また、同天満宮のご神体になっている神像は、この付近に立ち寄った際に、道真が自分の姿を似せて彫ったという。このご神体を尊敬の気持ちを持たないで見ると、家が途絶えるという伝承もあり、道真が立ち寄ったという伝説を信じないわけにはいかないようだ。天神信仰の中心、北野天満宮（京都市上京区）では、「京都から大宰府への経路は分かっていない。琵琶湖を経由することも考えられる」とし「伝説があって信仰されているのは興味深い」と言う。菅原道真没後25年ごとに「万灯祭」、50年ごとに「大祭」が開かれている。その神社の名前は。近江八幡のなんという天満宮か。天神さんは、たくさんあって迷うかもしれませんが八幡松明祭では「ヨイトナリ」で有名なところですよ。

- ①青根天満宮 ②長田天満宮 ③菅田神社 ④南津田天満宮 ⑤今宮天満宮

【行事】

106、市内では8月23日・24日（旧暦の7月24日を基準）に、子どもたちを中心に街中の至る所で行われる行事です。元は道祖神信仰から始まったとされますが、賽の河原で子どもたちを見守ったとする仏教故事から、その人物をお祭りしています。その行事の名称は、何といいますか。全国的にも行われますが近畿一円が盛んです。

- ①盆踊り ②地蔵盆 ③墓参り ④納涼祭 ⑤夏祭り

【万博】

107、安土城天主「信長の館」は1992年にスペインのセビリヤ（アンダルシア州）で行われたセビリ

ア万国博覧会に日本から出品された日本館（安藤忠雄が設計）の安土城天主閣（原寸復元）を万博終了後に、当時の安土町がゆずり受けたものです。コロンブスゆかりの地セビリアでは、1492年コロンブスが新大陸を発見して500年に当たるのを記念して開催されました。日本でも、1970年の大阪万博（一般博）をはじめ2005年愛知万博（登録博）などが開催されました。最近では2010年の上海万博（登録博）や2012年の麗水万博（認定博）が行なわれています。では、最も近い2012年に（麗水）万博の行われた麗水市はどここの国の都市でしょうか。

- ① 中国 ②台湾 ③ベトナム ④韓国 ⑤日本

【イベント】

108、1977年に近江八幡市宮が浜水泳場で第1回が開催されて以来、競技部門、コミック部門、滑空機部門、レディス部門、人カプロペラ部門などの各部門で争われている競技を何というか。初期の頃は「飛べ、栄光の大空へ」などとキャッチコピーがつけられていた。今は彦根の松原水泳場が会場となり毎年開催されている。

- ①飛べ飛行機コンテスト ②手作り飛行機コンテスト ③驚人間コンテスト ④びっくり人間コンテスト ⑤鳥人間コンテスト

109、滋賀の学校の校歌においては「琵琶の湖」ってのは、「びわのうみ」と読むのが常識です。ちなみに、地元UHF局のびわ湖放送では「アミンチュ（淡い海の人と書いて『淡海人』と書く）」というキャッチフレーズがのったCMが放送されている。この「アミンチュ」や「野洲のおっさん」（かいつぶり）のCMソングを作詞していたり、甲賀忍ジャガーなどローカル番組を熱くしている「株式会社まちおこし」社長の「西川興」氏は近江八幡市の住民ですがどこに住んでいるか知っていますか。

- ①船木町 ②小舟木エコ村 ③鷹飼北3丁目 ④上田町 ⑤大房町

110、琵琶湖は川です。ご存じでしたか。「1級河川琵琶湖」といいます。滋賀県では、田んぼの中を流れる小川まで1級河川なのです。それでは近江八幡市内には県が管理する「1級河川」は何本ありますか。ちなみに、余談ですが東京の不忍池は琵琶湖に似せて作られています。そして上野寛永寺が比叡山を模しているのです。その証拠に不忍池の中之島には竹生島の弁財天も祀られています。

- ① 5本 ②10本 ③13本 ④ 16本 ⑤24本

【特産】

111、本市は、琵琶湖、内湖、河川、湧水といった多様な水環境を形成していることから「水の郷百選」として全国の水の郷地域の一つとして認定を受けています。また、全国初の重要文化的景観第1号の（ラムサールの登録も受けている）西の湖周辺は、幾重にも織り成すクレークが水郷地帯を形成しています。そこで、このような自然的特徴である「水郷」を農産物のブランド名とした野菜を近江八幡市の特産品として何と言いますか。ブランドに認定された野菜等には、ブランドシールを貼ることができます。街中の農産品直売所やスーパー等で、安全安心の証であるシールを是非見つけてください。ちなみに高

島市で栽培されているニュージーランド生まれのボイズンベリーを「アドベリー」（商標登録済）と言って売り出しているようなものです。

①ラムサール野菜 ②（江州）水郷野菜 ③琵琶湖野菜 ④西の湖野菜 ⑤北の庄菜

112、西国三十三箇所巡り（巡礼）は、近畿2府4県と岐阜県に点在する33か所の観音霊場の総称であり、これらの霊場を札所とした巡礼は日本で最も歴史がある巡礼行であり、現在も多くの参拝者が訪れている。観音菩薩が衆生を救うとき33の姿に変化するという信仰に由来し、その功德にあずかるために西国三十三所の観音菩薩を巡礼参拝すると、現世で犯したあらゆる罪業が消滅し極楽往生できるとされる。第1番霊場の那智山青岸渡寺で始まり第33番は岐阜県揖斐郡の谷汲山華厳寺である。滋賀県には三か所の霊場があり、そのうちの第31番姨綺耶山長命寺と第32番織山観音正寺が近江八幡市内にあります。では滋賀県にあるあと一か所の霊場はどこですか。

① 永源寺 ②石山寺 ③西明寺 ④三井寺（園城寺） ⑤宝巖寺

113、近江八幡の語源は「日牟礼八幡宮」の八幡から来ているのはご承知のことだと思います。八幡はヤハタとも言いますが応神天皇と神功皇后が祭神です。元々この地域に住んでいたのは、和邇氏（平群氏系）系の「日触氏」だと日本書紀には書かれています。「平群臣」（和邇氏も同じ＝小野氏とも関係あり）も「日触臣」に繋がる系統です。近江の「日牟礼社」の「日牟礼」は「丸邇之比布禮臣」の「比布禮」に他ならない。「日触」も同じ。ところで、神功皇后と三韓征伐は神話の話だが、「天日槍」は加羅国の人（新羅と書かれている書物もある）である。いわゆる鉄の王といわれた金首露（キムスロ）の国である。和邇氏といえば「海族（アマゾク）」であり「アヅチ」も「アズミ」（アヅミノ）も同じ海族系部族が進出した場所である。神功皇后も海族である。天日槍（ツヌガアラヒトと同一人物といわれる）の一族が住んだとされる湖北の「息長」（息が長い）というところ。神功皇后の名前は「オキナガタラシヒメ」という。湖北の出身である。まさに海族ではないか。神功皇后が九州の地で応神天皇を産む。その家臣が有名な「武内宿禰」である。「武内宿禰（たけのうちすくね）」は5代の天皇に仕えた伝説の人物だが、葛城氏、平群氏、紀氏、巨勢氏、●●氏の中央豪族の祖とされている。物部氏と争い、聖徳太子もこの一族であり、乙巳の変で政権から転落した一族を何というか。

① 中野氏 ②中臣氏 ③大伴氏 ④蘇我氏 ⑤賀茂氏

114、近江八幡市で盆踊りと云えば「江州音頭」である。その盆踊りがはじめてできたのは平安時代だといわれています。空也上人によって始められた念仏踊りが、盂蘭盆（うらぼん）の行事（施餓鬼会ともいう）と結びつき、精霊を迎え慰め、彼岸に送り返すための仏教行事の一つになっていったようです。太鼓などをたたいて音を鳴らして踊るようになったのは、室町時代の最初の頃といわれています。また、戻ってきた霊が供養のおかげで成仏できた喜びを踊りで表すなどと伝えられている地方もあります。もともと「盆踊り」は旧暦7月16日の夜に、寺社の境内に老若男女が集まり死者を供養するために踊り明かしたようです。一方、江州音頭は、仏教のお経の節である声明を源流とし、民間布教手段として派生した祭文が一部で娯楽化し、次第に宗教色を薄めて遊芸としての祭文語りが独立していった。説経節や、浪花節どより下卑たものとされ、語りの合間に「♪ デロレン、デロレン」という合いの手を入れることから、デロレン祭文と総称された。江戸時代末期、武州のデロレン祭文の名人万宝院桜川雛山の弟子の

西沢寅吉が、歌念仏・念仏踊りを祭文に採り入れた独特の節回しを考案し、話芸を踊りと融合させた新たな音頭を作り上げた。これは祭文音頭と言われ、当初は近江国神崎郡八日市（現在の滋賀県東近江市）で踊られた。更に、寅吉と親交のあった奥村久衛左門（初代真鍮家好文）の協力で演目などを整備し、明治初年に近江国愛知郡枝村（現在の犬上郡豊郷町）の千樹寺で踊りを披露したのが、江州音頭の始まりとされる。その後次第に滋賀県内各地に広まり、現在に至っている。さて問題は、その江州音頭を近江商人が商用で訪れた土地に伝えたことにより、漫才・浪曲の源流ともなり、関西圏では「●●」として有名である。江州音頭の分家ともいえるその分踊りの楽曲は何というのか、というのが問題である。

①東京音頭 ②河内音頭 ③炭鉦節 ④デカンショ節 ⑤ソーラン節

【仏教】

115、人間の煩悩の数を「108」としている。やっと108も抜け出したところで、仏教観についての問題です。仏教ではあの世・この世に関する見方を「他界観」といいます。この他界観（仏教の世界観）を大雑把に分けると「欲界」「色界」「無色界」の三界に集約されており、さらに「欲界（食欲・淫欲の二欲を有するモノの世界）」のなかに、下から「地獄」「餓鬼・畜生・修羅・人」「天」とあり、「地獄」の中には「無間地獄・焦熱地獄・等活地獄」などの八大地獄があるという。また、「天」には「欲界に属する天」と「色界に属する天」があり、欲界に属する天を「六欲天」という。下から順に「四天王天」「三十三天」「夜摩天」「兜率天」「楽变化天」「他化自在天」という。ここまでが「欲界」であり通常は「六道」と称されています。さらにこの上は欲を離れたモノが住む「色界」であり、下から初禅天（梵衆天・梵輔天・大梵天）、二禅天（小光天・無量光天・極光浄天）、三禅天（小浄天・無量浄天・遍浄天）、四禅天（無雲天など八処）あり、これを四禅・17処という。この上は「無色界」であり物質（色相）を離れた世界である。四無色定と呼ばれるが四階級（空無辺処・識無辺処・無所有処・非想非非想処など）に分けられている。三界の頂点である「非想非非想処」を「有頂点」と称する。これが仏教の三界観であり、三界は一つではなく三千大千世界とあって10億以上宇宙に存在し、「生・住・壊・空」の四つのサイクルを繰り返しているという。だから仏教には天地創造という概念は存在しない。ちなみに、「欲界にある天」のうち、「三十三天」は須弥山の「梵天」がいるところであるし、「夜摩天」とは「閻魔」のことであり、人間で最初に死んだ人だといわれる。また「兜率天」には「弥勒菩薩」が住むところである。それでは、織田信長が自分を「第六天魔王」と自称した「天」とは誰（どこ）のことでしょうか。一体それはどこの天でしょうか。というのが問題です。

① 夜摩天 ②兜率天 ③他化自在天 ④梵天王（三十三天） ⑤広目天（四天王天）

【人物】

116、一柳満喜子女史を主人公にした小説が刊行されています。『負けんとき～ヴォーリズ満喜子の種まく日々～』上・下（玉岡かおる著 新潮社）です。彼女が地元の未就学児童を対象として始めた「プレイ・グラウンド」は「清友幼稚園」に発展、今日の近江兄弟学園へと発展。1969年（昭和44年）、ヴォーリズが逝去して5年後に彼女も永眠し、二人は共に同市北之庄町の恒春園に葬られている。さて「一柳満喜子」の家系（先祖）は「一柳直末」に始まる。元は美濃の土豪の出自。羽柴秀吉が織田信長に仕えていた頃から家臣だった古参の武将で、武勇に秀でていたことから「熊」の異名をとった。秀吉に仕えて各地を転戦して武功を挙げ、秀吉の黄母衣衆となった。天正13年（1585年）には田中吉政・中村一

氏・堀尾吉晴・山内一豊らとともに豊臣秀次の宿老に任命され、美濃国に3万石を領した。しかし、天正18年（1590年）、小田原征伐に参加したが、その緒戦である伊豆国山中城攻めで戦死し、弟の一柳直盛が跡を継ぎ、近世大名へと繋がり、徳川幕府でも幕末まで続き、明治には子爵となっている。秀吉にとっても信頼されていた武将であり小田原の陣中にあった秀吉は黒田如水から直末討死の報告を聞いて「直末を失った悲しみで、関東を得る喜びも失われてしまった」と嘆き、三日間ほど口をきかなかったという（『一豊公記』）。家督は弟の一柳直盛が継ぎ、また、母らくにも直末の死を悼んだ豊臣秀次から800石の知行地が与えられた（『一柳文書』）。岐阜県関市にある一柳城は直末が築城・改修し、一柳の名をつけた城である。祖先が豊臣秀次の家臣だったこともあり、ヴォリズ氏に嫁いでも近江八幡市に居住しつづけたとも云われている。そういった家系の満喜子氏だが幼いころは一柳子爵家でお嬢様として育ち、津田梅子の伝手でアメリカ留学もしている。このとき洗礼を受けたと云われているが、彼女が日本で通っていた学校は何というか。

①神戸女学院 ②ノートルダム女学院 ③同志社女子塾 ④津田塾大学 ⑤平安女学院

117、八幡商人で西川貞二郎は、松前の中一商会（住吉屋）の第10代目だが、八幡の町制の初代町長となったり、八幡銀行の開設や滋賀の缶詰工場建設などにも尽力した。また彼が県から払い下げを受け運営に係わったビワマスの「西川養魚場」が、今では東洋一と言われる「養魚」の場所となっている。それは滋賀県のどこにある、なんという場所ですか。

①南郷水産センター ②琵琶湖博物館 ③醒ヶ井養鱒場 ④別府温泉養魚場 ⑤滋賀県水産試験場（彦根）

118、キリスト教史学会常任理事を務めておられた故助野健太郎・聖心女子大学名誉教授の蔵書を寄付していただいて「安土文庫」が安土図書館にできている。さすがにマニアには垂涎の的である。これらの蔵書を活かしていないのが残念です。さて安土といえば「信長サミット」が1984年に第一回が安土町（当時）で開催されて以来、28年になる。参加自治体も天童市や岐阜市、大垣市、清須市などが参加し、益々拡大している。それとは別に森蘭丸のキャラクター「らんまる君」があちこちに出没しているという噂です。岐阜市可児の「森蘭丸祭り」には必ず参加しているらしい。また歴史では「森家」は甲賀五十三家と関係があり、織田家の諜報部門を担当していたとの話もある。さて、安土城址にも森蘭丸の屋敷跡があるが、本能寺で蘭丸・力丸・坊丸の三兄弟は討ち死にしている。残った次兄の森（勝蔵・武蔵守）長可は「鬼武蔵」と呼ばれた武将であったが、豊臣秀次（秀次と長可は池田恒興の娘を妻にしている）も関係している徳川家康との合戦で討ち死にをしている。その合戦を何というか。

①小牧・長久手の合戦 ②関ヶ原合戦 ③賤ヶ岳合戦 ④山崎の合戦 ⑤長篠の合戦

119、近江八幡市は、東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた福島県南相馬市と災害支援協定を締結していますが、南相馬市といえば「相馬野馬追い」（東北六大祭りの一つ）が有名です。もともと、相馬野馬追いは、相馬氏の祖先である「平将門」が軍事訓練をしたことに始まるとされる大変由緒ある祭り（神事：妙見信仰）である。この平将門が起こした「乱」を何と歴史上では呼ばれているか。

①承平の乱 ②天慶の乱 ③元慶の乱 ④隼人の乱 ⑤保元の乱

【宗教】

120、八幡山を歩いて登ると「不動尊」があります。6月第1日曜には「八幡山地蔵尊まつり」があります。結構多くの人がお参りしています。また、伊崎の不動尊も竿とびで有名です。このように市内では「不動尊」や「地蔵」信仰は熱心ですが、不動尊（不動明王）や地蔵が仏教であることを知らない人もいます。また全国から長命寺や観音正寺に来られる方の観音霊場巡りでは「観音菩薩」も仏教であることを知らずに三十三か所のご朱印をもらうことに生きがいを感じている人もおられます。ここでご留意下さい。「仏の世界」では「如来・菩薩・明王・天部」と分かれるなかで、「如来」の種類には「阿彌陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来、毘盧遮那如来」があり、「菩薩」には「弥勒菩薩、馬頭観音、観世音菩薩、文殊菩薩、勢至菩薩、日光・月光菩薩、地蔵菩薩、千手観音、聖観音、八幡菩薩」などが居て、「明王」の部には、「孔雀明王、不動明王、金剛夜叉明王、愛染明王、五大明王、降三世明王」などがあり、「天」部には「帝釈天をはじめとする十二天（四天王や韋駄天など）」、宮（金）毘羅をはじめとする十二神将、弁財天・吉祥天などの八部衆、八大竜王や阿修羅、八大童子、十六羅漢などがいる。これらを総称して「仏の世界」である。このことを知らずに仏教行為や観光をしている場合があります。特に近江商人の商いは仏教＝阿彌陀信仰の影響を強く受けている（商売を仏教から学んだ）といわれています。

そこで仏教全体の問題ですが、仏教にも南都仏教、平安仏教、鎌倉仏教と分かれるが、下記の中で南都仏教といわれるのは、次のうちどれか。

- ① 法相宗 ②法華宗 ③浄土宗 ④臨済宗 ⑤天台宗

【施設】

121、人生の終焉は葬儀であるが、通常、近江八幡市民が火葬に利用できる公立の火葬場はどこか。市民のうち旧安土町民は、合併の経過で東近江市の火葬場を利用できるが、それを除くものとする。

- ①布引斎苑 ②紫雲苑 ③野洲川斎苑 ④さざなみ浄苑 ⑤宮の森斎苑

122、昔と言っても、今から40年ほど前は、近江八幡市内の湖岸では水泳が可能であった。「海水浴場」とは言わないが「宮ヶ浜水泳場」「松原水泳場」「小豆が浜水泳場」「水が浜水泳場」「牧水泳場」「新畑水泳場」「佐波江水泳場」とあり何処でも水泳ができた。今では「プール」でしか泳げない子供たちがかわいそうである。また「宮ヶ浜、小豆が浜、水が浜、新畑、佐波江」ではキャンプ場もありテントでの宿泊もできた。特に市（教育委員会・生涯学習課）でも青少年向けのキャンプ場を管理していたところがあった（今は無い）が、それはどこであったか。

- ①宮ヶ浜、 ②小豆が浜、 ③水が浜、 ④新畑、 ⑤佐波江

【行政組合】

123、「東近江行政組合」には、近江八幡市も参加して、行政事務の一部の業務執行を依頼している。具体的には「消防・救急」業務を東近江行政組合で実施している。これは、平成の大合併以前においては、旧の2市7町で行っていた事務である。旧2市とは、近江八幡市と八日市市であり、7町とは、日野町、竜王町、蒲生町、安土町、永源寺町、能登川町とあと1つは旧町名でなんというか。

- ① 湖東町 ② 愛東町 ③ 甲西町 ④ 秦荘町 ⑤ 五個荘町

124、近江八幡市にあつては、各学区の呼び出し等にも順番があつて、一説には合併の順番だと云われている。昭和29年に合併しているが、それには時差があつて、まず蒲生郡八幡町と島村、続いて岡山村、金田村、桐原村、馬淵村、そして野洲郡北里村、と武佐村の順に合併したので、その順番が今も厳守されている。そして平成の合併で安土学区、老蘇学区だが、先に常楽・豊浦の安土があり老蘇があつて加わつたというので、「八幡、島、岡山、金田、桐原、馬淵、北里、武佐、安土、老蘇」の10学区順である。教育委員会での学校の並び方も同様である。それでは市内4中学校（八幡中学校・八幡東中学校・八幡西中学校・安土中学校）の並び方で正しいのはどれか。ちなみに旧近江八幡市の場合、中学校は八中、南中、西中と組合中学校があつた経過があり、当時八幡東中学校はなかつた。参考までに

- ① 八幡—八幡東—八幡西—安土中 ② 八幡—八幡西—八幡東—安土中
③ 安土中—八幡—八幡東—八幡西 ④ 八幡東—八幡—八幡西—安土中
⑤ 八幡西—八幡—安土中—八幡東

125、近世の近江商人は、その出身地によって、八幡商人、日野商人、五個荘商人、小幡商人などと呼ばれたが、この後世の近江商人につながる前にも「中世の近江商人」が活躍している。彼らのことを、その出身地から「得珍保」を中心にした得珍保商人とも言い独自の「座」をもって商売していたと歴史民俗書にある。別名「●●商人」ともいつたが、「●●商人」の中味（地域）はどこか。場所的にいえば、今の東近江市の今堀あたりだということである。

- ① 八風商人 ② 五箇商人 ③ 保内商人 ④ 木座商人 ⑤ 四本商人

【寺院】

126、近江八幡市安土町にある天台宗の寺院（本尊は薬師如来）であるが、織山（観音寺山）の中腹にあり西国33番札所の観音正寺に登る途中に位置する。寺伝では、天智天皇の頃、勅命により藤原鎌足の子「定恵」が創建したという。寺名は定恵が唐から持ち帰った桑の実をこの地にて栽培し、日本で最初に養蚕を始めたことに由来するという。室町幕府時代には第12代足利義晴が、ここに仮の幕府を置いたというし、第15代足利義昭も織田信長を頼った時に、ここに滞在したという由緒ある寺である。その寺を何というか

- ① 総見寺 ② 浄厳寺 ③ 教林坊 ④ 桑実寺 ⑤ 石寺

127、安土城築城と同時期の創建で丹羽長秀が織田信長の命令により織田家の菩提寺として安土城郭内に作つたとされる、臨濟宗妙心寺派の寺院である。本尊は織田信長であり、二王門（楼門）、三重塔は重要文化財である。住職は代々織田家の関係者が勤めていた、近江八幡市安土町にある寺院の名前は。

- ① 円満寺 ② 荘厳寺 ③ 浄厳寺 ④ 総見寺 ⑤ 冷泉寺

128、栃木県足利市にある「足利学校」は日本最古の学校として、平安時代に日本の白楽天といわれた小野篁（おのたかむら）が設立したとされ、室町・戦国時代には、関東管領の上杉家や北条氏により保護されており、安土・桃山時代には宣教師により世界にも知られている。小田原征伐により庇護者が滅亡すると「豊臣秀次」により保護されたが、一時、秀次により蔵書が京都に持ち出されたという事件が起こっている。しかし秀次は茶人でもあり文化人としても著名で、北条氏の保護がなくなり困っていた足利学校のピンチを救ったのは秀次であったのは事実です。文化財保護にも尽力するなど業績も多い方ですので足利学校の価値は知っていたと思われます。ただ歴史は勝者の都合によいように書かれるので、「秀次蔵書持ち去り事件」も時代が違えば別の評価になっていたでしょう。江戸時代には徳川家の庇護を受けている。現在は足利市教育委員会の管理にあり生涯学習の拠点となっている。さて、問題は開設者といわれる小野篁は小野道風や小野小町との関係者（一族）であるが、京都堀川北大路の「雲林院」近くには「小野篁と紫式部の墓」が仲良く並んで建っている。その二人の関係を探るのも面白いでしょう。また堀川「六道珍皇寺」には、小野篁が通っていた「井戸」があり、今でも観光客が後を絶たないということである。では、小野篁が夜ごと、この「井戸」から通っていたところはどこか。有名なお話である。

①紫式部の部屋 ②御所（天皇の住まい） ③藤原家別邸（宇治平等院）④阿弥陀仏の浄土 ⑤閻魔様のいる地獄

129、マスコットキャラクター（ゆるキャラ）は、滋賀県内だけでもたくさん（40数体）あります。彦根市の「ひこにゃん」をはじめ「さこにゃん・みつにゃん、やちにゃん、カモンちゃん」、滋賀県の「キャプティ」、県警察の「けいたくん」、県立大の「ふなずきん」湖南市の「いしべえどん」、甲賀市の「ぼんぽこちゃん、にんじゃえもん、甲賀ポン蔵」大津市の「ちま吉、大津光ルくん、おごとん」野洲市の「ドウタクくん」竜王町の「近江うし丸」などですが、近江八幡市のマスコットキャラクターは「らんまる君（安土町観光協会）」ともう一つは何でしょう。市運行バスの愛称にも使われています。

①ひむれちゃん ②おうみん ③さがわん ④赤コンくん ⑤ちーたん

130、東北から近畿圏に分布する「ドジョウ」で「絶滅危惧種」に指定されているドジョウが、琵琶湖周辺で生息しているが、ヒゲが八本あるドジョウで、水のきれいな淡水に住む近江八幡市内にも生息する「絶滅危惧種」のドジョウの名前はなにか。近年は圃場整備などで急速に激減している生物であるので、市内では島の島土地改良区で保護に乗り出している。最近滋賀の高島市で初めて発見された「ナガレ●●ドジョウ」はその生物の仲間のドジョウである。

① フクドジョウ ②シマドジョウ ③インドジョウ ④ホトケドジョウ ⑤カラドジョウ

131、「白雲館」は明治10年に、当時の八幡商人等が提供した6千円の寄付金で建てられた西洋建築の旧「八幡東学校」が最初です。近江商人が子どもの教育充実を図るためその費用の殆どが寄付で賄われました。その後蒲生郡役所となったり八幡町役場となったりしましたが、今の所有は近江八幡市に移管されて観光物産協会が入っています。さて、「左義長まつり」の日に限定して売られるお土産があります。20年ほど前の当時の物産振興会【現、観光物産協会】の会員（役員）で竹松商店（滋賀工芸）さんと「た

ねや」さんが共同して物産振興会で売り出して、今も「たねや」さんでは、新人研修の一環として作られて売られている商品があります。それはなんですか。

- ① 丁稚ようかん ②赤こんにゃく ③近江牛肉カレー ④近江肉うどん ⑤竹ようかん

132、琵琶湖には「沖島、竹生島、多景島、沖の白石」の4つの島があります。この中で、人が住んでいるのは沖島だけです。淡水湖で、人の住んでいる島があるのは世界でも珍しいそうです。沖島は今は廃れたが、かつては世に聞こえた石材の産地であった。島のガイド書によれば江戸時代から昭和40年代まで、沖島は採石場として栄えました。石英斑岩と呼ばれる良質の石は、明治時代の琵琶湖疎水、南郷洗堰、国鉄東海道線などの工事に使われたのだそうです。その沖島にも立ち寄ったであろう、明治期に琵琶湖にキリスト教の伝道船を浮かべて、キリスト伝道をしたアメリカ人がいた。ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏である。彼は、琵琶湖をイエス・キリストが伝道したイスラエルの地にあった、ガリラヤ（驚きだが、ヘブライ語でハーブ=楽器の琵琶の意味である）湖に見立て「神の国」の伝道師として自分を重ね合わせて見ていたといわれる。彼が乗った伝道船の名前はなにか。小豆が浜にはその船艇倉庫跡がいまもある。

- ① パウロ丸 ②イスラエル丸 ③ヘブライ丸 ④ガリラヤ丸 ⑤ヨハネ丸

133、織山に建つ観音正寺は聖徳太子が建立したお寺でその歴史は古く、人魚にまつわる伝説が残っています。寺伝には推古天皇の御代、近江国を遍歴していた聖徳太子が葦原から現れた人魚に出会い、『生前、神仏を尊ばず、魚の殺生を生業としておりましたので、このような姿になりました。織山にお寺を建立して私を成仏させてください』という人魚の願いを聞き入れた聖徳太子が自ら千手千眼観世音菩薩を刻み、山頂に堂塔を築いたとされています。かつては本堂に人魚のミイラが安置されていましたが平成5年の大火で焼失しました。人魚伝説は、西洋にもあり、ローレイやアンデルセンの人魚姫が有名である。コロンブスの航海日誌にも人魚を見たと言われている。日本では八百比丘尼伝説として伝わっている。ところで、人魚の正体はいくつか説があるが、日本では基本的には「食べられる特異な妖怪」である。そういう観点からみると「人魚」の正体は次のうちどれだと思われるか。

- ① アザラシ ②オットセイ ③サンショウウオ ④イルカ ⑤ジュゴン

134、佐々木六角氏の居城であった「観音寺城」は朝鮮式山城という様式で作られている。朝鮮式山城とは、古代に造られた山城で、白村江の敗戦の翌々年の665年から唐や新羅の日本侵功に備えて築かれた城をいう。朝鮮式山城と呼ばれているのは、この時の亡命百濟貴族が築城の指導にあつたことからそう呼ばれるようになった。一時期は古代豪族の狭々木山君が佐々木氏の祖先とされたが近江守護の佐々木氏は平家打倒時に近江守護に任じられているので今では別物とされている。それはさておき、白村江は大韓民国 扶余・白馬江の下流で起こった合戦であり、唐・新羅連合軍によって滅ぼされた百濟を復興させるため、大和国（天智天皇軍）が戦った最後の戦いが日本では白村江（はくそんこう、はくすきのえ）である。百濟・扶余の都が滅亡するとき、百濟の扶蘇山城の女官たちが白馬江に身をなげた岩を何というか。今ではそこに皇蘭寺（コランサ）というお寺がある。なお韓国・扶余は日野町・旧蒲生町が姉妹都市を結んでいた町である。扶余へはソウル（地下鉄3号線南部バスターミナル駅）から高速バスで2時間11000wで行けます。ぜひ一度行ってみてください。

- ① 落下傘岩 ②落花岩 ③皇蘭岩 ④百濟滅岩 ⑤自殺岩

135、近江八幡市で「盆おどり」といえば「江州音頭」ですが、他所の郡上八幡では「かわさき」「はるこま」など独特の歌詞でもって踊ります。全国的に有名な徳島の「阿波踊り」や高知の「よさこい踊り」も盆踊りです。念仏踊りが基本となって江戸時代にそれぞれの藩が奨励して今の形が残ったといわれている。念仏踊りと云えば京都の六斎念仏が有名であるが、最近ではその時の盆踊りに江州音頭を活用しているという。また「炭坑節」や「東京音頭」で盆踊りを踊るようになったのはもっと近年の事である。「河内音頭」は「江州音頭」の分家である。東北・関東では「花笠音頭」「会津磐梯山」「八木節」「ソーラン節」「北海盆唄」「証城寺の狸囃子」「ドンパン節」「津軽じょんがら節」「安来節」の民謡が盆踊りで歌われ、近年では「お江戸日本橋」「村祭」「お祭りマンボ」などの歌謡曲が唄われている。なお、同様な歌で沖縄ではポピュラーな踊りだが伝統芸能の音楽を何というか。沖縄のお祭りや宴会には必ず付きものです。

- ① 泡盛の唄 ② 豊年音頭 ③ ていんさぐぬ花 ④ 加那よ ⑤ エイサー曲

136、近江商人が天秤棒を担ぎ、全国を旅行商に歩いたのはご承知だと思うが、冬はともかく、夏などは野宿もしたであろう。その時仰ぎ見る星座も今と同じように輝いていたであろう。さて、夏の星座で「北斗七星」があるのは「こぐま座」のなかだが、「南斗六星」があるのは「なに座」のなかであろうか。

- ① しし座 ② おとめ座 ③ いて座 ④ わし座 ⑤ さそり座

137、近江商人特に八幡商人が行商で扱う商品の主な物は、蚊帳とイ草である。蚊帳も最近では見かけなくなったが、夏の必需品であった。イ草も市内浅小井町に「イ草の館」があることから、昔は必需品であった。では「イ草」は何に使うものなのだろうか。

- ① 製麺 ② ふとん ③ 芳香剤 ④ 畳表・ゴザ ⑤ 仏壇・仏様に飾る花

138、市内石寺にある「●●坊」は白洲正子さんの「かくれ里 石の寺」で知られていますが、聖徳太子が観音様のお告げにより林の中で説法されたことにより●●坊といいます。ご本尊は、太子ご自作の石仏で赤川観音と親しまれ、安産守護の仏様です。わびさびの幽玄の世界に小堀遠州作の名勝庭園、茅葺書院が皆様をおむかえします。また春と秋のライトアップ、紅葉の名所として知られています。書院に面する庭園は、枯れ滝・鶴・亀など巨石を用いて豪快に表現された桃山様式を代表する池泉鑑賞式庭園である。書院南面にも室町時代末頃とされる庭園があり、普陀落山を表現した観音浄土の庭となっている。六角氏が観音寺山に城郭を築くに当って、観音寺をはじめ三十三坊あったその子院を麓の観音谷に下ろした。●●坊はその観音正寺の子院でただ一つ残っている寺院である。この「●●坊」とはどこか。

- ① 松林坊 ② 松寿坊 ③ 光林坊 ④ 教林坊 ⑤ 宝泉坊

139、近江八幡の水郷めぐりは北の潮来の水郷、西の柳川の水郷と並んで、有名になってきましたが、和船観光の宣伝文句にある「この始まりは、織田信長や豊臣秀次が戦国の世の疲れを癒すため、宮中の雅やかな遊びを真似たと言われています。」には疑問符を付けざるを得ない。豊臣秀次は城下町を整備したときに八幡堀を水運利用で整備しているが、船を浮かべて遊んだという記録はない。織田信長も、百

丁櫓の安宅船の戦船をつくたという記録や、竹生島に遊びに行った女官を手打ちにしたとの記録があるが、優雅に水郷に船を浮かべて遊んだという記録はない。第一、両名とも近江に居た時期は、曲水の宴のような公家遊びが可能であったか甚だ疑問である。当時は、内湖は安土山のそばまできており、八幡山にしてもすぐ下は内湖であった（古地図で確認ください）織田信長が造ったという百丁櫓の戦船も水深の浅い琵琶湖では十分使いきれず、解体されたといえます。もっともその後、この造船技術は九鬼の鉄張軍船（鉄甲船）に継承され、毛利水軍との木津川口の第2次海戦で圧勝を納めるわけで、琵琶湖での大型船の建造は無駄ではなかったわけです。ではこの木津川口の手合戦（第1次、第2次）は織田信長軍が、どこを攻めているときに起きた合戦でしょうか。敵対する相手は、この海戦の敗北により、降参することになります。

① 紀州根来寺 ② 別所の三木城 ③ 伊賀（天正伊賀の乱） ④ 石山本願寺 ⑤ 北条氏小田原城

140、戦国武将としての豊臣秀次の武功については、あまり語られていないが、初陣の小牧・長久手の戦いで徳川家康に惨敗したあと、小田原征伐においては、山中城攻めの大将となって戦ったとある。この戦いは激戦で「一柳満喜子」さんの御先祖である「一柳直末」が討ち死にしているほどであったが、半日で陥落させている。他の城攻めでは蕪山城攻めに蒲生氏郷、細川忠興、福島正則、蜂須賀家政、下田城には九鬼、長宗我部などの水軍、松井田城には上杉景勝、前田利家が当たり、「忍城＝のぼうの城（映画）」攻めには石田三成や佐竹義重、真田昌幸が担当していたが小田原城が降伏するまで陥落させられなかったという。翌天正19年（1591年）奥州に出兵し、葛西大崎一揆及び九戸政実の乱鎮圧においても武功を挙げているが、そういうことはあまり聞かれない。特に葛西大崎一揆は伊達政宗が裏で暗躍していたといういわくつきのものである。秀次は同年（天正19年1591年）12月に関白となり、豊臣氏の長者になって聚楽第で政務を行なった。そのため秀吉との二元政治が1595年に高野山に追放されるまで続くのである。なお秀次には「若江八人衆」という精鋭の家臣団がいる。また「松花堂昭乗」という人物は一説では秀次の子どもという説もあるが大坂落城後も生き残り、江戸時代には「寛永の三筆」と称された。またこの人が考案したからその名がつけられた「弁当」を何というか。

① 幕の内弁当 ② 松花堂弁当 ③ 松栄軒弁当 ④ 日の丸弁当 ⑤ 海苔弁当

【家紋】

141、家紋の数っていくらあるかご存じですか？その数およそ2万点とされています。そもそも家紋の成り立ちは平安時代中期頃とされています。当時は家紋（家の紋＝シンボル）というよりも、身印（みしるし）と呼ばれ、高貴な人を象徴する目印として、牛車や持ち物にマークとして用いられたようです。現代なら大きな会社のマークのようなものです。さて平安時代、個人のシンボルマークとしてスタートした紋は、その認知度が高まるにつれ、家の紋章＝家紋として定着していきました。そして貴族達が用いていた紋章を、権力を引き継いだ武家達も用いるようになります。当時の家紋は、現代のように出自を表す紋章としての意味よりも、戦場で敵味方を区別する軍事的な要素が強かったため、シンプルで判別しやすい意匠が好まれたようです。また戦勝をイメージするもの、めでたい縁起柄も好まれたようです。戦国時代も中期頃になると群雄割拠の時代になります。そのため合戦が日常茶飯事となり、家紋も敵味方の識別マークとしての役割はもちろんのこと、自家の宣伝、戦意高揚のシンボルとして、急速に、その種類を増やし全国に普及しました。家紋は権威の象徴としても扱われるようになりました。江戸時

代になると、葵の紋処に代表とされるように、家紋は権威の象徴として用いられます。各地を統治する封建大名の家紋も、それぞれその家の代名詞として格式化されました。礼服に紋を付けるなど、儀礼的な役割も重視されるようになったため、大きさやスタイルが形式化されました。紋に丸を付けることが多くなったのは、この時代とされています。封建社会が崩壊した明治になると、庶民階級にも苗字・家紋が許されるようになりました。そのためこの時代に家紋を定めた家は大変多いとされています。明治になって家紋が衰退したのではなく、むしろ大ブレイクしたのです。家に伝わる「男紋」や、地域の城主や名士達の紋を流用することが多かったようです。ところで、近江八幡城主だった豊臣秀次の紋はなんですか。

- ① 笹竜胆 ② 揚羽蝶 ③ 桔梗 ④ 下がり藤 ⑤ 五七の桐

142、「下がり藤」の紋は「本願寺」も使っています。豊臣秀吉に近い武将では「加藤清正」も「藤の紋」を使っています。だいたい「加藤」「佐藤」「斉藤」「伊藤」「安藤」「近藤」「遠藤」など姓に「藤」がつく家は、先祖が藤原氏の出身であり、家紋もだいたい「藤紋」です。本願寺系の「下がり藤」は宗祖親鸞聖人が藤原系の日野家の出身であるから「藤紋」を使っています。藤は長寿で繁殖力が強い植物ですが、家紋の藤紋は「藤原氏」にあやかって使用しているのが多いです。藤紋にも大きくは「上がり藤」「下がり藤」「藤巴」などの種類があります。では、二代目の八幡城主の京極家（浅井三姉妹の初の嫁ぎ先）の「家紋」は何でしょう。

- ① 四つ目結 ② 丸に抱き茗荷 ③ 丸に三つ葵 ④ 丸に剣梅鉢 ⑤ 橘

143、豊臣秀次公の一族の生き残りの一人に真田信繁（幸村）の側室（正室は大谷行部の娘）となった隆清院（秀次の娘）がいる。彼女は大阪の陣で父を亡くしたが、娘を産んだ。それが「顕性院」である。「秋田県由利郡岩城町にある日蓮宗の古刹、顕性山妙慶寺の一角に、大光院（真田幸村）を父、隆清院（豊臣秀次の娘）を母に持ち、数奇な運命をたどった顕性院（御田姫）の墓がある。妙慶寺は、顕性院が真田家菩提の為、寛永6（1629）年に建立した寺である」と伝わっている。真田信繁（幸村）の残された家族では、三女阿梅が伊達家の片倉重綱の継室（泰陽院）となっている。豊臣秀次の関係では、秀次の娘である隆清院を母に持つ五女、なほ（御田姫）は秋田の佐竹氏支流の岩城宣隆に嫁ぎ出羽亀田藩主となる岩城重隆を産んでいる。同じ隆清院を母に持つ三男・幸信は実姉の伝手で出羽・亀田藩に仕えたとある。名も豊臣秀次の旧姓である「三好」姓を称し、三好左馬之助幸信と改名している。それはさておき、豊臣秀次と真田幸村に関係があったことに驚きを隠せない。では、真田家の象徴とする家紋は何か。

- ① 六文銭 ② 永楽銭 ③ 寛永通宝 ④ 三階菱 ⑤ 武田菱

【周辺の関係者】

144、豊臣秀次は、三回養子に出されている。1回目は3歳（治兵衛）の時、宮部継潤の養子となり、2回目は実父、弥助＝吉房とともに三好慶長の養子となり「孫七郎信吉」を名乗り、のち叔父、秀吉の養子となり「羽柴秀次」を名乗る。問題は第2番目の養父である「三好慶長（笑巖）」は、家臣に松永久秀を持っていた関係で、ある将軍と対立していた。その将軍とは誰か。

- ① 足利義輝 ②足利義昭 ③足利義政 ④徳川秀忠 ⑤足利義栄

145、松永久秀は三好長慶の勢力が衰えると、織田信長の家臣となるが、第三次織田包囲網で毛利家や上杉謙信はもちろん、織田方であった別所長治や荒木村重が謀叛すると松永久秀もともに叛旗を翻した。結果的には、松永久秀は大和信貴山で鎮圧され、信長がほしがっていた宝物と一緒に爆死するのだが、松永久秀とともに失われた宝物とはなにか。

- ① 西洋式のガトリング砲 ②スペインのカノン砲 ③平蜘蛛の茶釜 ④足利将軍家に伝わる名刀
⑤新式銃の設計図

146、織田信長が世に出て名を他の戦国大名に知られるようになったのは、「桶狭間の合戦」で今川義元を打ち取ってからである。今川義元は北条早雲の妹の孫にあたり、早雲の直孫である氏康とも鳩子であり且つ義元の姉（瑞溪院）は妻である。織田信長に敗れるまでは戦国最強の武将と云われていた。では今川義元の教育係兼軍師であり、京都五山での修行中に松波庄九郎（後の斉藤道三）とも面識があったといわれる。今川の武将=僧は何という名前か。

- ① 太原雪斎 ②安国寺恵瓊 ③快川紹喜 ④沢庵宗彭 ⑤南光坊天海

147、織田信長の義父である斉藤道三は松波庄九郎と名乗っていたが、その前は日蓮宗の妙覚寺の法蓮坊といった。父の長井新左衛門尉も美濃の出で京都の妙覚寺の寺侍であったといわれるが、とにかく京で油屋の経営を足掛かりに、彼は美濃にくんだり、守護大名の土岐頼芸に仕える。かつて（妙覚寺時代）は「法蓮房」と呼ばれた庄九郎は、土岐氏を美濃から追い出し、美濃を手中に入れるのであるが、道三の娘婿である織田信長も同じように尾張の守護大名を追い出し、戦国大名となっている。その時の尾張の守護大名の家は何氏であったか。

- ①大崎氏 ②畠山氏 ③斯波氏 ④上杉氏 ⑤一色氏

【海外貿易】

148、フランシスコ・ザビエルは日本に来た宣教師ですが、山口市には「ザビエル教会」もあります。しかし、眠っているところはインドのゴアというところ。こうした宣教師も含めて、植民地主義的な海外進出に乗り出しますが、「大航海時代」の幕を開けたバスコダガマはポルトガルの国王に命令されてでした。では、ヨーロッパ諸国がこのように「大航海」に乗り出した直接の原因は、オスマントルコによってアジアからの通商が陸上からでは困難になったから「海の道」を開拓したと云われていますが、アジアからヨーロッパに持ち込まれた産物でヨーロッパが必要としたものは何でしょうか。

- ①胡椒 ②トマト ③トウモロコシ ④かぼちゃ ⑤絹

【合戦】

149、織田信長の三大合戦のうちの一つ、姉川の合戦は「織田信長」と「浅井長政」が戦ったことで有名ですが、そのとき、羽柴秀吉が、小谷城が見える場所に城（出城・付け城）を築くことを織田信長

に命令され、秀吉の「出世城」といわれました、湖北の城をなんというか。山麓には石田三成の故郷石田村がある。

- ①長浜城 ②虎御前山砦 ③佐和山城 ④金ヶ崎城 ⑤横山城

150、賤ヶ岳の合戦は、羽柴秀吉と柴田勝家の戦いだったが、織田家の勢力を二分しての戦いであり、これに勝利した秀吉が信長の作り上げた権力と体制の継承者となるのであるが、この時「賤ヶ岳七本槍」といわれた武将が七人いる。「福島正則、加藤清正、加藤嘉明、脇坂安治、平野長泰、糟屋武則、片桐且元」の七人である。このうち浅井長政の家臣であった近江出身の武将は脇坂安治と片桐且元の2名がいる。この七名のうち、関ヶ原の合戦で、唯一西軍に味方した武将（大阪の陣で反豊臣方になったものも含む）は誰か。

- ①糟屋武則 ②加藤清正 ③平野長泰 ④加藤嘉明 ⑤脇坂安治

151、尖閣・竹島では日本政府の弱腰外交が指摘されているところですが、その昔にも、ヨーロッパからの植民地主義的南蛮貿易に対抗して、戦国～安土桃山～江戸時代の初期（鎖国が始まるまで）には日本からも多く海外に雄飛して出国（商人や合戦浪人など）しており、ベトナムやタイには日本人町がつくられていました。彼らは江戸幕府の鎖国と同時に棄民となりました。歴史にifはないが、豊臣秀吉の「朝鮮侵略」が韓国ではいまでも悪として歴史で教えられています。しかし、信長一秀吉と継承された、アジア対南蛮（ヨーロッパ）の戦略としてはあながち間違いであったとは言いきれません。戦術的には、李朝朝鮮を相手にするより、頭角を現してきていた金国＝女真部族と同盟を結び、衰退著しい「明国」を両方で攻撃すれば、必然的に李朝鮮も明国も降せたとと思われる、のですが……。明治維新政府が太閤秀吉を持ち上げた理由もこのへんにあります。さて、文禄・慶長の役は1592年と1598年ですが、女真・建州族の愛新覚羅ヌルハチが明に最初の反乱を起こしたのが1983年で、建州女真を統一し明に対抗して後金を建国したのが、それから5年後である。この時期に明国や朝鮮国は動乱の嵐（文禄・慶長の役）に翻弄されている。だから、日本も豊臣秀長や千利休が生きていて、竹中半兵衛なみの軍師がついていれば、戦術さえ間違わなければ、「文禄・慶長の役＝朝鮮・明国との戦い」という愚かな合戦も無かったかもしれないのである。歴史のifが悔やまれる。ところで、この時期の「女真族」＝が「明」国を倒して建国する国を何というか。

- ① 契丹国 ②渤海国 ③満州国 ④清国 ⑤ムガール帝国

151、文禄・慶長の役において、豊臣軍4万人と明軍4万人が戦った「碧蹄館へきていかんの戦い」は有名であり日本軍も大将宇喜多秀家、副将小早川隆景、その他立花宗茂、黒田長政、小西行長、石田三成などの武将が率いた軍を相手にした明軍の大將を李如松という。彼の名は日本でも有名である。またもう一人明国の有名な人物がいる。それは、明国が滅亡するとき（日本軍の侵攻に防衛出兵して財政的に破綻したとされるが）日本に助けを求めた「明国」武将がいた。日本ではその武将の息子を「国姓爺」といい、近松門左衛門の浄瑠璃「国姓爺合戦」として有名である、国姓爺と言われたその武将の子の名前は何か。

- ① 鄭 成功 ②李 成梁 ③鄭 芝龍 ④ 李 成桂 ⑤呉 三桂

152、文禄・慶長の役は日本だけでなく、朝鮮国にも政治的、文化的に大きな変化をもたらした。日本では政治的には秀次・千利休を切腹させた豊臣秀吉が亡くなり、関ヶ原合戦へと続き政権が代わるのであるが、文化面でも、大陸の陶磁器の製法が持ち込まれ、特に有田焼・伊万里焼の代表とされる柿右衛門様式は、ヨーロッパに輸入され、「マイセン」陶磁器にも影響を与えたのである。また朝鮮国においても、政治的には明国の支援を受けた関係で、ますます頭が上がりなくなったし、文化的には、南蛮貿易によって日本にもたらされた農産物が、この戦争によって朝鮮半島にも持ちこまれ、現在でも、朝鮮の食文化には欠かせないものとなっている。それは何か。

- ① 焼肉カルビ ② 唐辛子 ③ エゴマの油 ④小麦粉 ⑤とうもろこし

153、織田信長の家系は「平重盛」から始まり「平資盛」そして越前国織田剣神社に養子に入って「織田親真」が織田家の始祖となり「織田親基」―「親行」―「行広」と続くが、織田親真からは越前守護職の斯波氏に仕え、その後、織田家は尾張守護職でもあった斯波氏の家臣として尾張に行き織田信秀―織田信長と続きます。いわずと知れたことですが、織田信秀は織田信長の父親である。織田家の概要としては織田氏は越前国にそのルーツがあり、越前・尾張・遠江守護を兼ねた斯波氏の家臣として尾張国に入ります。室町時代の斯波家は管領を出す家柄で、当主は基本的に在京でした。織田氏は守護の代わりに在国し、留守を守ります。この守護の代わりに役職を守護代とよびます。守護代織田家は戦国時代に入って内訌を起こし、尾張国八郡は上下に分かれて二人の守護代が尾張国を治めました。北側の上四郡を織田伊勢守家が、下四郡を織田大和守家が担当することになります。斯波家は戦国時代に入って家運が傾き、越前国を朝倉氏乗っ取られに、遠江国を今川氏に奪われました。永正年間に在京をやめて尾張に腰をすえた斯波義達は遠江奪還を志します。この頃に織田信秀が生まれました。尾張下四郡守護代には三名の奉行衆がついております。因幡守家、藤左衛門家、弾正忠家の三家である（清須宗論に記載あり）。信秀はこのうちの弾正忠家の出です。弾正忠家は信秀の父の信定の代に津島・勝幡を領しておりました。尾張国下四郡守護代織田大和守達勝は清洲に根拠地をもち、上四郡守護代伊勢守を圧倒し始めます。達勝の手足となって戦働きをしたのが、織田弾正忠信定などの三奉行である。もともとは、尾張守護斯波氏の被官である織田家が清須織田家（大和守家）と岩倉織田家（伊勢守家）に分裂し勢力争いをし、清須織田氏の家臣であった織田弾正忠家から信長が出て尾張を征したということである。このように織田家では昔から織田家同士で勢力争いをしていたわけで、織田信長が尾張を統一する時にも、最大の敵になったのは、血を分けた弟の「織田信行」であった、最終は織田信行を騙し討ちにした形で尾張の政権をとるのだが、その後も信行の子ども（息子）は、戦国武将として近江の大溝城に領し、明智光秀の娘婿となったが、信長の息子、織田信孝と丹羽長秀により本能寺の変のどさくさに殺される。その織田信行の息子の武将の名前を何というか。

- ① 織田（津田）信澄 ②織田信雄 ③織田信友 ④織田信広 ⑤織田信包

【社寺】

154、日牟礼八幡宮の祭神は「応神天皇とその母の神功皇后」である。天皇で「神」という名を付けて名乗っているのは「神武」「崇神」と数少ない。神功皇后の三韓征伐の途中で、九州で生まれたのが応神天皇である。八幡神社・稲荷神社系は「秦氏」の創建である。三韓征伐は新羅との連携が目的だったと云われる。その時の忠臣が「武内宿祢」である。日牟礼八幡宮は成務天皇元年（131年）、勅命により武内宿祢が創建したのが始まりと伝えられています。持統天皇5年（691年）には藤原不比等が参拝に訪れ「天降りの 神の誕生の八幡かも ひむれの杜に なびく白雲」の歌を残しています（この歌が日牟礼八幡宮の社号の由来となっています。）。さらに「応神天皇5世の孫」が「継体天皇」ですが、継体天皇即位以後に武内宿祢の子孫である蘇我氏が新興豪族として台頭してくる（武内宿祢—蘇我石河—満智宿祢—蘇我韓子—蘇我高麗—蘇我稲目—蘇我馬子—蘇我蝦夷—蘇我入鹿）乙巳の変で蘇我入鹿が天智天皇（百済系）に暗殺されたこと（「韓人（からひと）、鞍作（入鹿）を殺す」という記述）から、蘇我（秦）氏は「反百済系」と言える。余談だが天智天皇は継体以前に勢力を持っていた葛城系である。また武内宿祢は、巨勢氏、平群氏、紀氏の祖ともされる。なお、壬申の乱では、天武天皇は、蘇我氏や出雲系尾張氏を味方につけ、近江朝廷に勝利したと云われている。「蘇我」とは「我れ蘇る」である。それらがさりげなく日本書紀などに記されているのである。天武天皇は日本書紀、古事記の作成を命じただけでなく、八色の姓等の律令制度の確立を目指した。さて、天武天皇は古事記の作成を誰に命じたのか。

- ① 稗田阿礼 ②武内宿祢 ③藤原不比等 ④橘諸兄 ⑤阿倍比羅夫

155、船木町にある 浄土宗宝池山西願寺は、豊臣秀次公を開基とする寺院です。上杉謙信を見習い武人の毘沙門天の信仰・祈願所として建立されましたが、今は阿弥陀如来や薬師如来もおられます。住職の金森昭憲さんは、特技あることで布教をしています。それはなんでしょう。

- ① よし笛の演奏 ②琵琶による説法 ③手品・マジック ④ 腹話術 ⑤雅楽の演奏

156、近年は「ゆるキャラグランプリ」なども行われており、そのなかで圧倒的な人気を誇っているのが彦根市の「ひこにゃん」である。彦根藩二代目の井伊家殿様井伊直孝を助けた白ネコにちなんで作られたキャラクターマスコットである。近江八幡市の「赤コンくん」は残念ながら「着ぐるみ」でないで「ゆるキャラ三原則」からは外れています。しかし、まだ「ゆるキャラ」はいます。次の「ゆるキャラ」のうち、近江八幡産の「ゆるキャラ」はどれか。

- ① のぶさま ②らんまるくん ③しまさこにゃん ④いしだみつにゃん ⑤浅井三姉妹

157、彦根の「井伊の赤鬼」は有名だが、「鬼」と異名を付けられた武将は多い。近江八幡に関係する武将で言えば、鬼柴田こと瓶割柴田ともいわれる瓶割山城の柴田勝家、その他武将では上杉謙信の家臣の鬼小島（小島弥太郎）、関東武将の鬼義重（佐竹義重）、徳川家では鬼半蔵（服部半蔵）、鬼作左（本多重次）などなどがある。それら鬼といわれた武将のうち、陣中から妻あてに書いた「一筆啓上火の用心、お仙泣かすな馬肥やせ」という日本一短い手紙で知られる戦国武将は誰か。

①鬼柴田（柴田勝家）、②鬼小島（小島弥太郎）、③鬼義重（佐竹義重）、④鬼半蔵（服部半蔵）、⑤鬼作左（本多重次）

158、仏教の四天王にちなんで、優れた者を指して徳川四天王とか織田四天王と云われる。徳川家康の四天王は酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政を言い、織田信長四天王は柴田勝家・滝川一益・丹羽長秀・明智光秀を言う。ここに羽柴秀吉を入れた場合は「五大将」という。では、織田四天王のうち、近江国（滋賀県）の出身でありながら近江に城がもらえず、関東を中心に戦った軍団長で、その昔、服部氏と双璧をなした伴氏の流れをくむ人物の出身地は今のどことされているか。親族に前田慶次郎利益がいる。

① 高島市 ②大津市 ③甲賀市 ④彦根市 ⑤米原市

159、近江八幡市の有名人で検索すれば、戦国武将で言えば豊臣秀次や織田信長だけでなく、「浅井長政」もヒットした。それもそのはずで、「浅井長政」は、浅井氏が六角氏に従属していたころ、浅井久政の嫡子として観音寺城下の浅井家屋敷で生まれて育っているからである。当初の名前も、六角義賢の「賢」をもらって「浅井賢政」と名乗り、最初の妻も六角氏の重臣平井定武の娘を嫁にしている。その後、小谷城で、反六角の姿勢をとった彼は六角義賢の偏諱である賢を捨て、信長の長をつけ「長政」と改名している。また現代の芸能人では「AKB48の田名部生来」がいる。もう少し、年配の女性では、駅前に妹と父が暮らしている実家があり、妹は「響」というレストランを開いている「女優」の名前は誰か。整理整頓が好きな女優として有名です。

① 末成由美 ②志村ふくみ ③松居一代 ④高木ハツ江 ⑤烏丸せつこ

160、当初は、近江六角氏の家臣であったが、織田信長により六角氏が敗れて後は、織田信長に臣従し、賤ヶ岳の合戦では、羽柴秀吉に味方し、堂木山砦の守将を任された。秀次が八幡城主となったとき、その家老となり、小田原攻めでは北条氏の岩槻城攻めなどで功を立てた。しかし、秀次事件に連座して、賜死した。その子供は、同じ近江人で秀吉により復活して大名となっていた六角義郷にかくまわれ、豊臣秀頼の近習となり、大阪夏の陣で討ち死にした。その子が匿われて住んでいたのは馬淵村であったという。その子どもの名前を何というか。

① 木村 重茲 ②木村 重成 ③ 蒲生 秀行 ④大野 治房 ⑤古田 織部

161、近江八幡市のまちづくりは、学区公民館から移管した「学区コミュニティセンター（以下、コミセンという）」を軸に「学区まちづくり協議会」が運営する方向で展開している。原則、各学区「まちづくり協議会」＝「コミセン」は小学校区ごとに1カ所設置しているが、ある学区は、2小学校を包括している。その学区とはどこか。ただし、沖島小は1コミセンもあるので除くものとする。

- ① 島 ② 桐原 ③ 金田 ④ 八幡 ⑤ 安土

162、昔から、「きゅうり封じの寺」として親しまれていて、観音山広場には、芭蕉句碑「一声の江の横たふや ほととぎす」「五月雨に鳩の浮巢を見に行かん」などや、木の中地蔵尊（国指定重文）や十一面観音立像（重文）がある。下の街道は昔、朝鮮通信使が通った街道である。そのお寺の名前は何か。

- ①願成就寺 ②極楽寺 ③東福寺 ④西願寺 ⑤海雲寺

163、剣術指南と云えば徳川家康と柳生石舟斎・宗矩が有名であるが、「豊臣秀次」の剣術指南役は、柳生石舟斎よりも強かったと云われる「疋田陰流」の創始者疋田文五郎景兼である。「新陰流」の上泉信綱の姉を母に持ち、早くから信綱に師事して剣を学んだとされる。同門の「神後伊豆宗治」（信綱高弟）も秀次の剣術指南役になっている。このように「新陰流四天王」と言われた疋田景兼、神後宗治の2人に師事した秀次も相当な腕前であったといわれている。では、疋田景兼、神後宗治、柳生宗厳（石舟斎）ともう一人を加えて新陰流四天王というが、それは誰か。

- ① 林崎甚助 ②丸目蔵人 ③伊藤一刀斎 ④神子上典膳 ⑤塚原卜伝

164、狩野永徳が描いた「安土城屏風」が天正遣欧少年使節の手によりローマの教皇グレゴリウス13世に渡り、以後行方が分からなくなっているが、同じく織田信長が狩野永徳に描かせ上杉謙信に送った「上杉本、洛中洛外図屏風」は国宝に指定され現在まで残っている。さて、上杉謙信は、関東管領を、後北条氏の圧迫から逃れた山内上杉の憲政に譲られて「上杉」を名乗るのだが、関東では、山内上杉家のほか扇谷上杉家、古河公方足利、堀越公方（鎌倉公方）などが争った享徳・永享・長享の乱・永正の乱が有名である。その時、山内上杉の家宰として越後守護代の長尾為景の同族であった長尾景春がいれば、同様に扇谷上杉家には家宰として、川越城や江戸城を作った人物で「七重八重 花は咲けども 山吹の実の一つだに なきぞ悲しき」の歌で有名な人物がいた。現在では豊島区神田川橋の近くに「山吹の碑」がある。足利学校で学んだとされている、扇谷上杉の家宰を務めたその人物は誰か。その人物は、文明12年、関東より上京せし時、老蘇の森にて「きわねただ 老曾の杜の秋風も 心にかよふ 袖の上の雲」と和歌を詠んでいる。

- ① 成田氏長 ②長尾景虎 ③上杉景勝 ④太田道灌 ⑤北条早雲

165、柳生石舟斎は、松永久秀に仕えていたが、織田信長の命により足利義昭の剣術指南役にもなった。その後隠居したが、大和郡山城主の豊臣秀長に柳生の里の「隠し田」がバレット所領没収になったが、のち豊臣秀次に100石を復活してもらっている。息子の柳生宗矩が徳川家康に仕え500石を賜り、関ヶ原以降、徳川将軍指南役となる。そもそも、「柳生新陰流」は、伊勢の住人、愛洲移香斎の「陰流」を祖（剣術の源流；移香斎—上泉信綱—柳生石舟斎）として、「陰の流れ」を伝えている。愛洲移香斎は、修験道の山伏や伊賀の百地と出会い「陰流」を創設したといわれている。（陰とは忍びの術である。）それでは、戦国時代にもう一人の武芸者（剣豪）である宮本武蔵が若い時に仕えた戦国武将の名前は誰か。晩年にはありません。関ヶ原合戦の時代に仕えた主人名です。

なお宮本武蔵には複数説があり、二天一流を創始し、五輪の書を記した宮本武蔵は播州生まれで「玄信」と名乗っています。円明流を創始した美作生まれの武蔵は「宮本武蔵政名」を名乗っています。鳥取藩に仕えた「宮本武蔵義貞」も文献に出てきますし、絵や書を残した武蔵は「範高」だということです。一体これはどう考えたらよいでしょう。

- ① 宇喜多秀家 ② 織田信雄 ③ 大谷刑部吉継 ④ 石田三成 ⑤ 豊臣秀次

166、織田信長は、平清盛の子孫であって「平信長」と名乗っています。なぜなら平清盛の長男が重盛でその子が平資盛であり、信長の出た織田氏はその資盛の末裔だとされているからです。NHK大河ドラマで承知でしょうが、平清盛は南都六宗を焼き討ちしています。また、織田信長も比叡山延暦寺を焼き討ちしています。それに信長の部下になった松永久秀が多門山城の戦いで、東大寺の大仏の首を落した事件は有名です。それでは問題です。奈良の東大寺は南都六宗の主は何宗の本山とされていたところでしょうか。南都六宗は、華嚴宗、法相宗、律宗、俱舎宗、成実宗、三論宗の六つを言います。なお天台宗・真言宗は平安仏教と云います。

- ① 華嚴宗、② 法相宗、③ 律宗、④ 俱舎宗、⑤ 成実宗、⑥ 三論宗

167、織田信長と戦った「石山本願寺」は、一向衆とも呼ばれたが、本当は「浄土真宗」の門徒と自らを呼ぶように気を付けることが「蓮如」のご文章で明らかであるが、真宗門信徒は、「死ぬことを厭わなかった」から強かったといわれる。その原因は正信偈の「往還回向由他力」による本願力の教え（往相回向・還相回向）にあると云われる。教義にいわく「阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて 仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。」往生とは本来死ぬということではなく、生まれていくという意味で、お浄土といわれる仏さまの世界へ生まれさせていただくことであります。「正像末和讃」には「浄土真宗に帰すれども 真実の心はありがたし 虚仮不実のわが身に 清浄の心もさらになし」と、「真実の心」は虚仮不実の身である凡夫には無いと述べ、如来の本願力回向による名号の功德は十方にみちたまう。それでは、浄土真宗の教えと違うものは、次のうちどれか。

- ① 本尊は大日如来 ② 悪人正機の教え ③ 他力本願 ④ 現生正定聚 ⑤ 称名念仏

168、浄土真宗の本願寺教団は、織田信長と全国で一向一揆衆として戦ってはいるが、他の真宗（仏光寺派、高田派など）教団は、織田信長や他の戦国武将とは衝突していない。唯一、戦国武将と戦った真宗教団は「蓮如」系統の東本願寺・西本願寺である。こうした歴史を踏まえて、現在、真宗10派といわれるなかで、真宗10派に入らないものはどれか。

- ① 真宗興正寺派 ② 真宗大谷派 ③ 真宗仏光寺派 ④ 浄土真宗本願寺派 ⑤ 浄土真宗親鸞会

169、熊沢番山が幼い時、勉学に勤しんだ「中小森村」に、その庵跡がある。その熊沢番山は、陽明学を志すが、同じく同門には後世に渡辺崋山がいる。彼は高野長英などと共に「蛮社の獄」（南蛮グループに対する言論弾圧）を受けて亡くなるのであるが、その時の老中は水野忠邦、直接、手を下したのは、南町奉行の「鳥居忠耀」である。彼は「蝮の耀蔵」「妖怪」（鳥居甲斐守耀蔵）といわれ国学者の子であ

り、蘭学・洋学者に関しては冷酷で、「外国船打ち払い令」もこの頃であり、庶民にも忌み嫌われていた。その彼に対抗した当時の北町奉行は庶民に人気であったが、老中水野と鳥居によって閑職に追いやられた。鳥居の失脚後、南町奉行に復帰しているが、その人物は誰か。

- ① 遠山景元 ②大塩平八郎 ③大岡忠相 ④小栗忠順 ⑤阿部正蔵

【諸子百家】

170、熊沢番山が師事した近江聖人「中江藤樹」から学んだものは「陽明学」である。当時は朱子学が体制派に好まれたのに対し、陽明学は反体制派に好まれた。熊沢番山は藤樹に師事したが同門では大塩平八郎が独学で陽明学を学んでいる。幕末の維新運動は陽明学に影響を受けており、吉田松陰、高杉晋作、西郷隆盛、佐久間象山、河井継之助などが歴史上いる。ではこの中国明の王陽明が起こした陽明学や朱子学などを総称して「儒教」というが、別名「孔子教」ともいわれる。孔子だけでなく、中国の春秋戦国時代には孟子、老子、墨子、荘子、韓非子などの「諸子百家」が有名である。「諸子」は人物を指す言葉であるが「百家」は学派を示す言葉である。では老荘思想というが、老子と荘子は、なんという学派でそれは「百家」のうちの何を指すのか。

- ① 墨家思想 ② 道教 ③陰陽道 ④神仙学 ⑤孫子兵法

【鎌倉武士】

171、近江八幡市と夫婦都市提携をしている、静岡県富士宮市はB級グルメ「富士宮焼きそば」と富士山の雪解け水が溶岩断層から湧き出す無数の滝が並んでいる「白糸の滝」で有名であるが、歴史好きには、信長の首塚のある西山本門寺とか、日本三大仇討の一つである「曾我兄弟（仇討）物語」の場である「曾我八幡宮」が観光には好まれている。では、曾我兄弟は誰を仇討ちしたのでしょうか。「曾我八幡宮」には首洗い井戸などが残されている。ちなみにあとの二大仇討とは「赤穂浪士の忠臣蔵」「荒木又衛門の鍵屋の辻」である。

- ① 源 頼朝 ②梶原景時 ③工藤祐経 ④三浦義澄 ⑤北条義政

172、近江源氏の「佐々木氏」は近江八幡市安土町を本貫地とした一族である。起源には二説あり、宇多源氏系の佐々木氏と古代豪族（朝鮮式山城の阿倍臣一族とされる。）狭狭貴山君（日本書紀の顕宗天皇の条に、「狭々城山君韓袋宿禰」（ささきやまぎみからふくろのすくね）が豪族狭狭城山公の祖とされてきた）の二説である。佐々木氏は、近江国を発祥の地とする宇多源氏の一流である。宇多天皇の玄孫である源成頼が近江国佐々木庄に下向し、その地に土着した孫の経方が佐々木を名乗ったことから始まるとされる宇多源氏の中でも佐々木氏は特に近江源氏あるいは佐々木源氏と呼ばれて繁栄し、各地に支族を広げた。佐々木氏の祖となる佐々木秀義は保元元年（1156年）に崇徳上皇と後白河天皇が争った保元の乱において、天皇方の源義朝軍に属して戦い、平治元年（1159年）の平治の乱でも義朝軍に属して戦うが、義朝方の敗北により伯母の夫である藤原秀衡を頼って奥州へと落ち延びる。秀義の4人の子定綱、経高、盛綱、高綱は、乱後に伊豆国へ流罪となった義朝の嫡子源頼朝の家人として仕えた。治承4年（1180年）に頼朝が伊豆で平家打倒の兵を挙げると、佐々木4兄弟はそれに参じて活躍し（宇治川の

先陣争いは有名である) 鎌倉幕府創設の功臣として頼朝に重用され、本領であった近江を始め 17ヶ国の守護へと補せられる。また、奥州合戦に従軍した一門の者は奥州に土着し広がっていったとされる。近江本領の佐々木嫡流は、信綱の死後、近江は4人の息子に分けて継がれ、3男の佐々木泰綱が宗家となる佐々木六角氏の祖となり、4男の佐々木氏信が佐々木京極氏の祖となる。鎌倉政権において、嫡流の六角氏は近江守護を世襲して六波羅を中心に活動し六波羅評定衆などを務める一方、庶流の京極氏は鎌倉を拠点として評定衆や東使など幕府要職を務め、北条得宗被官に近い活動をしており、嫡流に勝る有力な家となる。京極氏の系統である佐々木道誉は、足利高氏の幕府離反に同調して北条氏打倒に加わり、足利政権における有力者となる。また、治承4年の頼朝挙兵時に平氏方につき、後に頼朝に従った佐々木義清(佐々木秀義の5男)は、初め「源氏仇方」であったため平氏追討以後も任国を拝領しなかったが、永年の功と承久の乱の時に幕府方についたため、初めて出雲、隠岐の両国守護職を賜い、彼国に下向し近江源氏から分派して出雲に土着したため、この一族を出雲源氏(隠岐氏、宍道氏、富田氏、末次氏などが末系統)という。では、問題であるが、この「出雲源氏」の末裔で有名な人で日露戦争に活躍した大将は次のうち誰れか。なお、京極家の分家で尼子氏(甲良荘尼子郷)がいるが、この京極尼子氏は「出雲源氏」には含めない。ただ京極尼子が出雲の守護代であったことから、戦国時代には出雲地方の戦国大名になった一族で、織田信長・豊臣秀吉とは大いなる因縁をもつ一族ではあるが……。また、山名氏も出雲を領したが、清和源氏ではあるが、「河内源氏」の系統である。

- ①乃木希典 ②東郷平八郎 ③谷 干城 ④児玉源太郎 ⑤山形有朋

173、「狭狭城山君」については、安土町の「狭狭貴神社」の社伝にも、「沙沙貴」は少彦名神に起因するといわれており、上古にあっては、沙沙貴山君の一族の氏社として尊奉された。なお安土町図書館のある山(古墳)からは古墳時代前期の貴重な遺物、波紋神獣鏡や車輪石などが多く出て古代から開拓が進み、この地方に高い文化をもつ豪族が存在していたことを示している。古墳の被葬者は従来蒲生・神崎両郡最大の豪族狭狭城山公の祖とされてきた。しかし雪野山古墳(現八日市)や、中沢・斗西遺跡(とのにしいせき 現竜王町)における前方後円墳の発見から、これら当古墳の両翼に位置する古墳の被葬者こそが狭狭城山君(連合)の祖であり、当古墳はこの両者の谷間にあって、これら在地勢力とは異なる勢力を背景とする被葬者であったとも考えられるという説もある。当地はのちの東山道に近接し、地名が宮津であることや北西に江頭の地名が残ることなどから、湖上・陸上における交通の要衝であったことに間違いない。この山は織山(きぬがさやま)より北西へ延びる支脈の屋根上、標高役114mの地点にあって、周辺平野部との比高は約25mである。県下最大の前方後円墳で国指定史跡である、この山(古墳名)を何というか。名称を記せよ。

- ①瓢箪山 ②目賀田山 ③鶴翼山 ④竜王山 ⑤箕作山

174、近江八幡市は日野町と東近江市、竜王町の2市2町(合併以前は2市7町だった)で「東近江行政組合」を作っている。主な業務は「消防業務」であるが、東近江地域の観光にも力を入れている。東近江地域で有名な観光地と云えば、湖東三山があげられる。では、湖東三山のうち、西明寺と、金剛輪寺と、あと湖東三山で有名な場所(寺)はどこか。

- ① 永源寺 ②常楽寺 ③桑実寺 ④石塔寺 ⑤百濟寺

【秀次家臣】

175、豊臣秀次付きの家老であった『田中吉政』は、当初、宮部継潤の家臣であった。田中吉政と秀次との接点は早く、秀次4、5歳の時（宮部継潤が秀吉の調略により浅井長政から寝返った時）からで秀次の養父（秀次からは第1回目の養子）となっていることから宮部家を通じて吉政とは深い交流があったと推測される。「田中」家はもともと近江人で、近江源氏佐々木信綱の4人の子のうち長男重綱が大原氏、二男高信が高島氏（朽木荘に住す＝のち朽木氏とも云われる）三男泰綱が六角氏、四男氏信が京極氏を名乗るが、「田中氏」は二男高島氏の末裔であると云われる。秀次の筆頭家老であった「田中吉政」は秀次事件ののち、関ヶ原では東軍側に立ち、石田三成を捕縛した張本人である。その功により筑後柳川の領地を与えられ大名となった。八幡堀を整備したのは「田中吉政」だといわれていますが、船下りで有名な柳川の掘割を整備したのも、田中吉政です。なにか因縁を感じます。なお、特に高島家庶系の朽木氏、田中氏、平井氏、横山氏などの高島七頭が西近江では勢力を持っており、戦国時代にも活躍している。この高島氏系統の同族の「横山」であるが（近江国横山村出身といわれる）「横山喜内」という人物がいる。彼は当初、近江国の六角氏に仕えていたが、織田信長に滅ぼされると、信長の家臣となった蒲生氏郷に仕えた。その時「蒲生」という姓をもらって「蒲生喜内」又は「蒲生郷舎」とも「蒲生頼郷」ともいった。蒲生氏郷が病気で亡くなると、彼はある人物に仕え、嶋左近清興と双璧をなし、関ヶ原の戦いで戦死する。小説「影武者徳川家康」の題材にもなっている彼が最後に仕えた主人は誰か。

- ① 石田三成 ②織田有楽斎 ③黒田長政 ④藤堂高虎 ⑤福島正則

176、同じく豊臣秀次付きの家老であった『山内一豊』は、「功名が辻」で有名な奥方の内助の功の逸話（安土に来た奥州の馬商人から、奥方のへそくりで馬を購入する話）が残されているが、もともと「山内一豊」の父は尾張の守護代であった岩倉織田氏の重臣であった。岩倉織田氏が織田信長に滅ぼされた後は、諸国を放浪したのち、信長・秀吉に仕え、長浜城主となり、秀次の家老となった。関ヶ原では東軍につき、土佐をもらう。一方、妻の「千代」は近江浅井氏家臣、若宮喜助友興の娘として弘治2年（1556年）に生まれた。幼くして両親を失い、近江坂田郡宇賀野（滋賀県米原市）で一豊の母に裁縫を習ったことが一豊との縁の始まりだといわれている。夫の功名をその優れた状況判断で支え続け、長浜、京、伏見、大阪等に転住し秀吉の妻おねと仲が良かったという。徳川の世になり、一豊が土佐一国を授かり、土佐に移るが、夫の死後は、京に住んだという。関ヶ原では山内一豊の部下であった田中孫作（米原市出身）に届けさせた石田三成の挙兵を伝えた「笠の緒の密書」が有名な話である。さて、山内一豊が移封された土佐藩は、前領主の家臣であった「一領具足」を郷士と呼び、山内家の家臣を上士と呼んで区別した。では「一領具足」が仕え活躍した頃の元の大將（前領主）は何という武將（戦国大名）であったか。明智光秀とも近い関係であった。

- ① 三好慶長 ②蜂須賀家政 ③仙石秀久 ④長宗我部元親 ⑤大友宗麟

177、秀次の家臣で秀次事件に関連して、切腹した「明石則実」という播州出身の人物がいる。彼

は、小寺官兵衛（黒田官兵衛）の従兄弟であり、官兵衛と共に秀吉に仕え、のち秀次に仕えている。関ヶ原で戦った宇喜多家の明石全登は同族である。このように秀次の家臣にはすごい人がごろごろ居た。例えば秀次に剣術指南をした人物の、「神後宗治」（神後流）は、剣聖といわれた上泉信綱の弟子である。もう一人、同じく秀次に剣術を指南したのは「疋田文五郎景兼」という疋田陰流の祖となった人物である。上泉信綱の弟子・新陰流四天王のうち二人に秀次は剣を習っているのである。あとの二人とは「柳生宗厳」（柳生新陰流）と「丸目蔵人長恵」（タイ捨流）である。俗に秀次の親衛隊（精鋭部隊）を「若江八人衆」というが、秀次の死後、多くは石田三成に仕え、関ヶ原で討ち死にしている。同じく秀次の家老をしていたが「秀次事件」で謹慎させられた「おね」の親戚筋で、子孫には「忠臣蔵」で有名となった播州赤穂藩の藩主がいた人物は、誰か。

- ① 浅野長政 ②黒田長政 ③池田輝政 ④杉原家定 ⑤木下秀俊

178、秀次の家臣になった者のなかには、変わり者もいる。秀次が小牧・長久手の戦いで大敗したとき、混乱の中、徒歩で秀次が逃げていた時、馬に乗って逃げる家臣を見かけ、秀次が「馬をよこせ」といったところ、その家臣は「雨の日の傘にて候」と答え、そのまま走り去ったという。つまり、自分が（逃げるのに）必要なものであるので、主君であっても譲ることはできない。と答えたという有名な逸話がある。秀次の怒りを買ったのは言うまでもない。当然その彼は浪人したが、その後、福島正則に仕えた。宝蔵院流槍術の開祖覚禅房胤栄に槍術を学んで「槍の〇〇」と異名をもつ、その武士の名前は誰か。常に笹の指物を背負って戦い、倒した敵の首の切り口に笹の葉を入れたので「笹の〇〇」ともいう。

- ① 可児（才蔵）吉長 ②佐々内蔵助成政 ③大崎玄蕃長行 ④渡辺半蔵守綱 ⑤長尾隼人正長重

179、2012年6月8日に、近江八幡市立八幡西中学校から東京に修学旅行に行った時の記事が東京新聞に掲載された。「都内へ修学旅行中の滋賀県・近江八幡市立八幡西中学校の3年3組の生徒たちが8日、都慰霊堂（墨田区横網）を訪れ、関東大震災時の朝鮮人虐殺など、大震災の歴史を学んだ。生徒に説明したのは、在日コリアン3世で朝鮮大学校2年の、金華映（キムファヨン）さん（19）。人権教育に力を入れる八幡西中は、地元の朝鮮学校を通じて東京での案内役の紹介を依頼。歴史ツアーのガイド経験を持つ金さんが、大学校から推薦された。関東大震災都慰霊堂には、関東大震災と東京大空襲、計16万3000の遺骨を安置。敷地の横網町公園内に、関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑もある。生徒ら約40人は慰霊堂で担当者の説明を受け、朝鮮人犠牲者追悼碑に黙とう。再び慰霊堂に戻り、金さんの解説を聞いた。」この記事に対して、猛烈な攻撃が西中学校や教育委員会にきた。「関東大震災時に朝鮮人の大量虐殺はありませんでした。自警団が、朝鮮人テロリスト集団と戦った過程で、巻き添えになって殺害された一般の朝鮮人犠牲者がいただけです。」「関東大震災時の「朝鮮人狩り」などの歴史を在日コリアンから学ぶ、近江八幡市立八幡西中学校の担任教師は日教組か全教か、史実を教えない教育界に巣くう反日左翼は駆除すべき」などです。たしかに流言飛語で朝鮮人が市民の組織した自警団に殺されたことは事実として認めるべきである。しかし、当時の鶴見警察署長の〇〇氏のようにデマに惑わされず身

体を張って朝鮮人を保護した話や戒厳令で横須賀鎮守府を朝鮮人の避難所にして保護した草鹿龍之介のような日本人もいたことも学習する必要がある。そうすれば学校への攻撃も無かったかもしれない。では当時のその横浜の鶴見警察署長の名前を知っていますか。知らなかったら、この際、覚えてください。

- ① 大川常吉 ②大川栄策 ③不破万作 ④鈴木常吉 ⑤大川隆法

180、近江守護佐々木六角氏の本拠地は、小脇館・金剛寺城（金田館）・観音寺城と変遷しましたが、3ヵ所はもっとも離れた小脇館と金剛寺城でも5kmあまりしか離れていません。今回取り上げる金剛寺城は、近江八幡市金剛寺町にあったと考えられています。六角氏の祖泰綱の子である頼綱は、晩年に別館を金田の館に住まいを移したことから「金田殿」と称され、その館は「金田館」と呼ばれました。その孫の氏頼が同じ金田に創建した金剛寺は金田館に近接していたか、これを元に建立した寺院と考えられます。応仁の乱の余波で勃発した六角氏と京極氏の争いに金剛寺も巻き込まれ、文明元年(1469)の合戦で焼失しましたが、同18年(1486)には再興されます。延徳3年(1491)には第二次六角征伐で將軍足利義材の陣所をおくため、近隣諸郡から人夫を徴発して金剛寺城へと造り替えられました。金剛寺町には現在の金田小学校の西北西約150mに「古城」という小字と「寺ノ内」「大手」といった地名が残されており、ここが金剛寺城跡と考えられています。この周辺では室町時代の堀などが検出されていますが、全体像は明らかではありません。一方『近江蒲生郡志』では文明18年に再興された金剛寺の位置を、安土町慈恩寺の浄厳院から南西へ100mあまり離れた「金剛寺」と呼ばれる畑地と推定しています。近江八幡市金剛寺町は「こんごうじ」と読むのに対して、こちらは「こんごうでら」と呼ばれます。この畑地の周囲には「北堀」「東堀」「南堀」と呼ばれる水田がめぐり、発掘調査でも15世紀末から16世紀代の堀・石積み・ピット群が見つかっており、全体像は判明しないものの城館跡に間違いありません。これが再興金剛寺だとすると、將軍が着陣したのはこちらということになります。金剛寺城跡には地名のみ、安土の金剛寺遺跡には一段高い畑地が残っているほかは寺・城の名残りは残されていません。しかし、観音寺城以前の六角氏守護所を明らかにするうえで鍵となる遺跡です。地名の元は「金剛禅寺」から来ていますが、金剛禅寺（臨濟宗）は夢窓国師の開山で観応三年（1352年）近江守護五世佐々木判官氏頼建立している。氏頼は貞和二年（1346年）8月26日41歳で亡くなった父時信の菩提を弔うため、建立したものと伝えられている。寺名については近江源氏の大祖・宇多天皇の御名が金剛覚であるので、金剛禅寺と付けられたが、後に村名となったものである。江戸時代は、大手村・九之里村という二つの村であったが、明治七年（1874年）に合併して金剛寺村となった。

現在の、「金田」学区の地名の源である歴史についてざっと説明したが、さて、近江八幡市は元は「蒲生郡」であったが、一部「野洲郡」であった学区が現在、近江八幡市に存在している。その学区はどこか。

- ① 島学区 ②岡山学区 ③北里学区 ④桐原学区 ⑤馬淵学区

181、市内武佐学区は、中山道と八風街道の交わる「武佐宿」が中心となって発展した宿場町である。往時は一日に三千人の往来があったといわれる。武佐宿の特産と云えば「近江枴（八升枴）」と「武佐墨」であったが、今は名残りも見当たらない。「むさ」にひっかけた「武者りんどう」が有名となっている。

滋賀県食肉センターがあり、近江牛の本場でもある。地域内には、市立の給食センターも建設されている。武佐宿の名残りには本陣・脇本陣跡もあり、旅館中村屋も有名であったが2000年に火事で全焼してしまった。宿名の由来である武佐寺は太平記に登場するほどの著名な寺院だったようだが、現在は存在しておらず、武佐宿南側にある長光寺（宿内の広濟寺とも）の前身が武佐寺ともいわれる。武佐宿はその武佐寺の門前町として町を形成しつつ、江戸時代に中山道沿道に家々が集められ宿場町としての体裁を整えた。中山道は古くは東山道とも木曾路とも云われ、江戸時代に中山道となった。では武佐宿は中山道の何番目（江戸・日本橋から数えて）の宿場町か。一番近い中山道の宿場町は愛知川宿と守山宿である。なお起点（日本橋）と終点（三条大橋）は数えない。ちなみに「東海道は五十三次」という。

- ①50番 ②56番 ③66番 ④70番 ⑤78番

182、近江八幡市の歴史は昭和初期に増補編纂された「蒲生郡志」が元となっている。そもそも「蒲生郡」は古代律令制に「郡」が成立したといわれ、天智天皇の頃には「蒲生野」が万葉集に歌われている。近江国田原に住んだ「藤原秀郷」（倭の藤太）の末裔が「蒲生氏」を名乗っている。戦国期の蒲生氏郷は三上山のムカデ退治で有名な「倭の藤太」の子孫ということになる。昔（昭和の大合併以前、明治22年の町村制施行時には）、八幡町があったころ、「蒲生郡」は、八幡町、日野町と23の村（2町23村）があった。その後、宇津呂村と島村が八幡町に編入したのち、八幡町と桐原村、岡山村、馬淵村、金田村が合併し近江八幡市となり、蒲生郡より離脱しました。また安土村と老蘇村が合併し安土町となり、2010年安土町が近江八幡市に合併し、郡より離脱しました。でも現在でも「郡」制度は生きています。2012年の時点で「蒲生郡」に所属するのは、竜王町と日野町ですが、旧村名で蒲生郡でなかったのは、どこでしょうか。1つ選んでください。

- ①市辺村 ②玉緒村 ③鎌掛村 ④朝日野村 ⑤御園村

183、大房町に残る邇々藝志（ににぎし）神社の木札に書かれている幻の中世の村についての伝承を紹介します。建長年中（1249～1255）鎌倉時代半ばの頃、現在の大房町南端に通る往還筋にかかる荒井川橋の四方に、「野村千軒」という集落があったそうです。「千軒」とは、戸数の多い集落を指します。野村千軒も、橋周辺と往還筋を中心に多くの家が立ち並び、特に橋の周りには問屋が住居を構え、船を使った物資輸送が頻繁に行なわれていたようです。しかし、野村千軒に疫病が流行り、毎日多くの人々が亡くなりました。そのため、人々は琵琶湖寄りに住居を移し、舟木村の出村となりました。更に、そのうちの数人が岡山の西側に移り住み、彼らは、自分たちの居住地をもとの集落と同じ「野村」と名付けました。それが野村町の名前の由来とされています。また、舟木村の出村になった元野村千軒の人々が住む集落も、その後、天皇家から「大房」という名前をもらい独立したと木札には記されています。そこで気になるのが、野村千軒が存在した場所ですが、荒井川橋にかかる往還筋の周辺という記述から考えると、朝鮮人街道と藤間川とが交差するあたりになります。現在は、ほ場整備がされて道・川の位置関係が当時と異なりますが、おそらく現在の消防署とエコ村のあるあたりと考えられます。土器など遺物も発掘されています。しかしこのお話は、あくまで伝承の紹介です。これが史実として正しいとするには、まだまだ調査研究が必要ですが、伝承を追いかけて考えるのも、歴史の醍醐味の一つです。では、大房が歴史に登場するのは、いつの時代でしょうか。詳しくは成澤邦正氏（郷土史家）の「琵琶湖の浮城」に詳しいです。

- ① 飛鳥時代 ②平安時代 ③室町時代 ④鎌倉時代 ⑤江戸時代

184、大房、小舟木などはもっと昔（平安時代）は「舟木郷」と呼ばれていました。舟木郷から賀茂（加茂）、御神牧（岡山・牧）が分かれました。また津田郷は内湖を挟んで津田南、津田北、津田中があり今の南津田、北津田、中ノ庄です。北の庄、多賀などは大島郷と呼ばれました。その他に近江八幡市内では安吉郷、篠田郷、桐原郷がありました。なお安土地区においては鷓鴣という字が『近江輿地志略』には見られ「佐々木もと鷓鴣の御名によれり。佐々木は仮名書なれば、篠筥と相通ず。佐々木を篠筥といふにや」と記されるように、近江国蒲生郡篠筥郷や佐々木郷（鷓鴣郷）と呼ばれていた。鷓鴣はササキと読むがセキレイのことである。では「近江源氏佐々木氏」のことを専門に書いた昔の書物があるが、なんという書物か。

- ① 日本書紀 ②源氏物語 ③江源武鑑 ④宇治拾遺物語 ⑤今昔物語

185、源義経が木曾義仲を討つため、京都へ行く途中、瀬田川で唐橋が落されており、宇治川を渡るのに、近江源氏の佐々木高綱と「宇治川の先陣争い」をした武将は誰か。なお、義仲軍として参加した、もう一人の近江源氏（山本山が根拠地）がいた、源（新羅三郎）義光を祖とする五代目の子孫の山本義経（本来は源であり源義経という）である。二人の源義経が戦ったのが、粟津の戦いだらうか。

- ①梶原景季 ② 佐々木 定綱 ③ 源 範頼 ④今井兼平 ⑤武蔵坊弁慶

186、近江八幡市と兄弟都市（姉妹都市）であるアメリカのカンザス州レブンワース市は、米英戦争時の士官ヘンリー・レブンワースからつけられた名前であり、近江八幡市の名誉市民のウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏が生まれ、幼年期を過ごした地である。ミシシッピ川の近くにあるレブンワース市は、西部開拓の入り口にあたることから、西部劇に出てくるような場所（＝レブンワース砦）がある。しかし、もう一つ、レブンワース市といえば有名なものがあるが、それは何か。

- ① 陸軍・連邦刑務所 ② 宇宙航空司令部と空軍基地 ③バッファロー（野牛）のすき焼 ④金鉾山 ⑤アメリカ先住民・インディアンジュエリー

187、市内安養寺町にある「上野神社」は旧桐原郷七か村の氏子の信仰を集めている。上野神社の創建は不詳ですが雄略天皇の御代に、桐原郷に住む狩人（桐原郷内上野山に住む蒲生物部の宿弥高比古という射術名人）が狩りに出た際、突如として雷鳴が轟き1人の老人からこの地の安寧と豊作の御神託がありました。狩人は神意と悟り社殿を建立したのが始まりと伝えられています。伝教大師最澄が訪れた際、神仏習合の神社として須佐之男命を勧請し境内には七堂伽藍を建立しました。以来、安養寺地区の産土神として信仰され、歴代領主からも崇敬庇護され社領の寄進や社殿の造営などが行われました。明治43年旧桐原郷七ヶ村の祭神を総氏神として合祀しました。社宝が多く、鎌倉時代に製作されたと思われる木造巢毘鳴尊坐像、大己貴命立像、菅原道真坐像が国指定重要文化財に指定されています。桐原にはもう一つ、「天目一命」を祭る由緒ある延喜式神明帳に列する神社があります。祭神は古事記にもみえ

る天津日子根命の御子が天目一命であります。この方の子孫の蒲生稻置や菅田首が蒲生平野一帯を治めていました。和名抄にみえる桐原郷は菅田首が治めていたので、その祖先の天目一命を祖神として広くこの地域の人々が敬仰し、氏神として今日に至っているのです。尚祭神は鍛冶屋の祖とも伝えられていることは新しい技術を導入しこの地域の開発に後見された所以であります。弘仁六年（815年）の新撰姓氏録（しんせんせいしらく）に菅田首人（すがたのおびと）とあり、菅田姓を持つ一族は天麻比止津乃命（あめのまひとつのみこと・（同神）の末裔であると記されています。天目一箇命はその名の片目（目一箇）の神で示されるように、わが国の採鉄・鍛冶部族の祖神であり、筑紫忌部、伊勢忌部の祖と史料に見えます。また、天御影命は近江の三上祝の奉斎する祖神であり、ともに天津彦根命の御子と伝える事情などから、「天目一箇命と天御影命とは同神か」と記述しているのもあります。「御影」とは鏡の意味であり、剣も鏡も鍛冶製品で、かつ天孫族の「三種の神器」にあげられます。では、桐原学区にある、その神社の名前は何か。4月には松明祭りや太鼓渡御が行なわれ中小森、赤尾、日吉野、白鳥など旧中小森村に所属する町の氏子が全員参加する。

- ① 菅田神社 ②熊野神社 ③出雲神社 ④日吉神社 ⑤三上神社

188、豊臣秀次は、関白となって八幡城主から京都の「聚楽第」の主となるが、当時、京都は「お土居堀（洛中惣構・京廻りの堤）」によって囲まれていた。秀次の切腹と共に「聚楽第」は壊され、近江武士出身の豪商「角倉了以」により、高瀬川などが開削され「お土居堀」も壊される。しかし、「お土居堀」も一部は現存しており、「聚楽第」の一部も、現在、京都の「三閣（金閣、銀閣、飛雲閣）」の一つ、飛雲閣として残っている。では、その秀次が最後に過ごしたという「飛雲閣」は今はどこにあるのか。

- ①二条城の庭園 ②西本願寺の庭園 ③東本願寺の庭園 ④知恩院の庭園
⑤天龍寺の庭園

189、豊臣秀次の養母であった「おね」は、豊臣秀吉が亡くなって「豊国神社」に祀られたとき、剃髪して近くの「高台寺」に隠棲した。関ヶ原前夜には、加藤清正、福島正則、徳川家康等が高台寺詣りをしたという。この「高台寺」が再び歴史に登場するのは幕末である。壬生浪といわれた近藤勇を中心とした「新選組」を分かち「御陵衛士」として「高台寺党」を結成するのである。その時「新選組」を離脱した高台寺党の中心人物は誰か。

- ① 山南敬介 ②伊東甲子太郎 ③芹沢鴨 ④藤堂兵助 ⑤武田観柳斎

190、1582年、織田信長が本能寺で明智光秀の謀反により斃されたとき、「安土城」も燃えている。このとき、「安土城」を燃やした人物はだれと云われているか。放火説等諸説あるが、一番、疑わしい人物で、定説と云われている者を選んでください。

- ① 織田信孝 ②織田信雄 ③明智秀満 ④蒲生賢秀 ⑤山岡景隆

191、柴田勝家には長光寺城主時代から六角氏の旧臣が多く家臣となっている。これは長浜城主の豊臣秀吉と同じく城持ち大名として近江出身者を多く雇用した結果である。柴田勝家はこれら家臣の他に北陸軍団長として大名級の「与力」がつけられている。前田利家、佐々成政、佐久間盛政などである。拝郷 家嘉（はいごう いえよし）も、尾張出身の織田氏の家臣だが、柴田勝家の与力として北陸戦線で功績を挙げ、加賀大聖寺城の城主に任じられた与力の一人である。主君の織田信長の死後、勝家と羽柴秀吉が天下の覇権を争った賤ヶ岳の戦いに出陣し、勝家方の将として佐久間盛政の攻撃隊に参加したものの、盛政・柴田勝政・山路正国らとともに退却する際に福島正則に近江柳ヶ瀬にて討ち取られた。その子孫は徳川家に仕えたとされているが、ここに登場するのが「拝一刀」である。「拝家は織田信長に仕えた武将、拝郷家嘉をルーツとし、一刀は家嘉の子である孫十郎の子、正直の子である。拝の姓は、拝郷が武士が見せてはいけない「背後」に通じるとして、拝郷の「郷」を取って拝とあらためたという。」というように劇画『子連れ狼』においては、拝家がどのような家柄で、どのような歴史を持つかについては、詳しく描かれている。では、拝一刀の使う剣術は何という流派か。今も静岡県下を中心に命脈を保つ古流剣術である。

- ①水鷗流 ②京八流 ③馬庭念流 ④北辰一刀流 ⑤神道無念流

192、古美術の世界では、「南部鉄瓶」と同じぐらい有名な「古鉄瓶」が近江八幡市にもあったことをご存じだろうか。隣の東近江市（能登川）にも「亀文堂」での鉄瓶があつて有名であるが、近江八幡でも古鉄瓶がつくられていた。それを何という「〇〇鉄瓶」か。もし、今持っている方がいれば「なんでも鑑定団」に出品できるだろう。

- ①正神鉄瓶 ②梅泉堂鉄瓶 ③八幡鉄瓶 ④湖東鉄瓶 ⑤龍文堂鉄瓶

193、豊臣秀次の家臣であつたが、秀次事件に連座して切腹させられた人物のなかには、元織田信長の家臣だった人が多くいる。桶狭間の合戦で、毛利新介とともに今川義元を討ったことで有名な彼もその一人である。「信長の鷹」という異名をもっており、先祖は伊賀忍者の服部半蔵と先祖を同じくした人物は誰か。余談だが、霧隠才蔵も本姓は服部才蔵といった。志能布（しのび）は聖徳太子にも仕えた大陸系の人と言われている。

- ① 中吉政 ②中村一氏 ③服部小平太 ④森 長可 ⑤黒田長政

194、豊臣秀吉の天下取りを助けたが、後に秀吉に恐れられ隠居させられた黒田官兵衛は、元は長浜市の出身であるといわれています。彼も秀吉にうとまれましたが、うまく立ち回り関ヶ原では東軍についたのは有名です。また藤堂高虎も近江の出身で浅井長政に最初使えますが浅井家滅亡後は、豊臣秀長に仕官します。甥の藤堂玄蕃は豊臣秀次の家臣となります。同じ近江の出身で山陰で勢力を誇った尼子一族も甲良の尼子出身です。では最後の尼子氏に仕えた戦国武将で彼の子は鴻池で酒屋を営んだという。その人は誰か。

- ①真田昌幸 ②山中鹿之介 ③雑賀孫市 ④竹中重治 ⑤片桐且元

195、豊臣秀次の家臣には、織田信長に仕えた武将も多くいる。その中で、桶狭間の戦いで、今川義元が一番槍を付けたが、今川義元に切られて負傷している間に、仲間の毛利新介に今川義元の首を取られた武将は何と言うか。その時の状況は絵にもなっている。彼は秀次事件に連座して切腹させられている。

①蒲生氏郷 ②服部小平太 ③服部小藤太 ④仙石秀久 ⑤神子田正治

196、秀次の家臣であったが、小田原の合戦（山中城合戦）で討ち死にした武将に近江八幡と関係の深い人物（市介・市助ともいう）がいる。秀吉はその人物の戦死を聞かされて落涙したとあるが、その人物の従兄弟も秀次事件に連座して、切腹しているが、その近侍は何という名前だったのか。また戦死した市助の弟（直盛）が家督を継ぎ、大名として明治維新まで続いている。

①一柳可遊（直秀）②明石則実 ③ 小早川秀秋 ④ 伊達成実 ⑤山本勘介

197、豊臣秀次のご落胤と言われる人が、石清水八幡宮の所に庵（〇〇堂）を建てて住んでいた。彼は岩清水八幡宮の社僧でありながら、書道、絵画、茶道の奥義を極め、近衛信尹、本阿弥光悦とともに寛永の三筆と称されました。彼の出生・素性は謎であり、秀次の子であったとも称されています。なお彼の名を付けた弁当が今なお伝えられています。

①松花堂昭乗 ②小堀遠州 ③沢庵 ④ 助六 ⑤ 今出川晴李

198、「秀次事件」は今でも謎が多い事件である。田中吉政や山内一豊、中村一氏など秀次の宿老が生き残っていたり、そうかと思えば事件関係者の身柄を預かった家の者も処罰されたりと訳が分からない。前野長康など秀吉の墨俣時代の朋友ともいべき人物まで処刑（切腹）させている。石田三成が陰謀の首謀者だとの説もあるが、舞兵庫など秀次の忠実な家臣（若江八人衆）が事件後、石田家に仕え関ヶ原で勇敢に戦い戦死していることを思えば、三成ではない気もするし、同じく殉死した木村常陸介の子の木村重成は大阪の陣に参加し真田幸村と同じく豊臣方として戦い戦死しているのである。では、誰が犯人なのか。一番得をしたのは徳川家康であるからして、家康の陰謀なのだろうか？豊臣家を支える重要な人物の、秀長、秀勝、秀保（大和豊臣家の断絶）も次々と怪死しているのも不思議なことである。推測でかまいません。あなたは秀次事件の首謀者は誰だと思いますか？

①豊臣秀吉 ②徳川家康 ③石田三成 ④淀殿 ⑤黒田官兵衛 ⑥ その他（ ）

199、秀次の家臣であった一柳直末の妻は黒田官兵衛の妹であり、直末が戦死して、その妹と子供は黒田家に引き取られている。また秀次事件で切腹させられた明石則実は黒田官兵衛の従兄弟である。また、同じく秀次事件に連座させられて切腹した前野長康・景定（かげさだ）親子もいる。では景定の妻は誰の大名の長女であったか？秀次事件でその娘も捕縛させられそうになったが、景定から離婚させて、さらに出家させて、ようやく生きのびさせた娘の親（大名）の名を上げて下さい。

①細川忠興 ②伊達政宗 ③最上義光 ④徳川秀忠 ⑤毛利輝元